

平成16年度文部科学省委託事業
図書館の情報拠点化に関する調査研究

親と子の読書活動等に関する調査

平成16年度

財団法人 日本経済研究所

目 次

はじめに

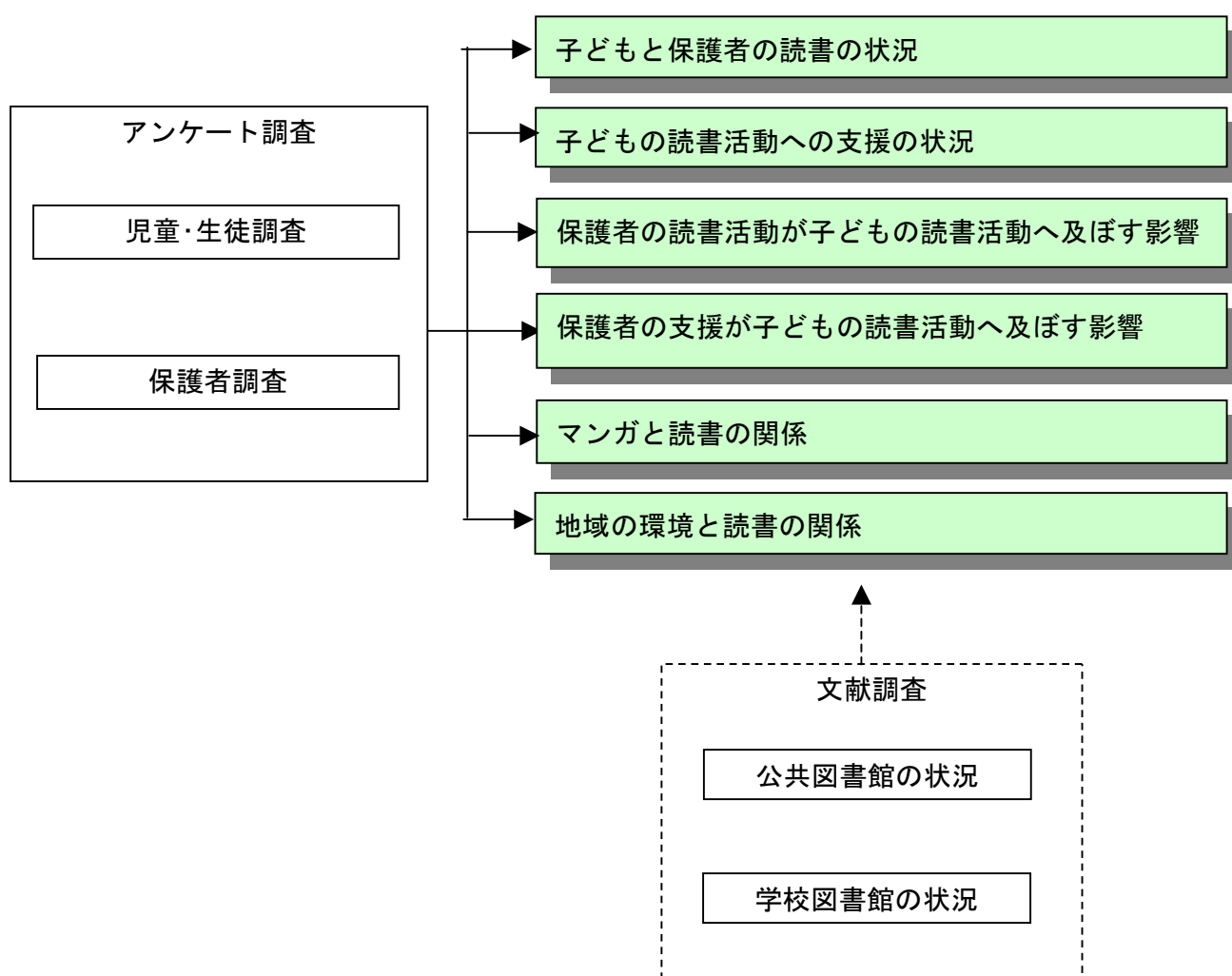
第1章 調査概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の概要	4
3 回収結果	6
第2章 調査結果の概要(要約)	7
第3章 アンケート調査の結果	15
1 子どもと保護者の読書の状況	17
2 子どもの読書活動への支援の状況	39
3 保護者の読書活動が子どもの読書活動へ及ぼす影響	51
4 保護者の支援が子どもの読書活動へ及ぼす影響	53
5 マンガと読書の関係	56
6 地域の環境と読書の関係	58
第4章 文献調査の結果	63
1 公共図書館の状況	65
2 学校図書館の状況	72
資料	77
調査票(小学2年生用)	79
調査票(小学5年生用)	83
調査票(中学生・高校生用)	87
調査票(保護者用)	91

第 1 章 調査概要

1 調査の目的

本調査は、子どもの活字離れや読解力の低下が社会全体の課題となっていることを踏まえて、児童・生徒の読書活動と親の読書活動に関するアンケート調査を通して幼児期の読書体験や読書環境が子どもの読書活動に及ぼす影響、親の読書活動が子どもの読書活動に及ぼす影響について把握するとともに、文献調査を通して地域の図書館が親と子の読書活動に及ぼす影響の分析を行うことを目的として実施した。

図表 1－1－1 調査の全体像



2 調査の概要

(1) 調査の対象

① 対象

公立の小学校2年生および5年生、中学校2年生及び高等学校（全日制普通科）2年生の児童・生徒およびその保護者

② 抽出方法

調査対象は、下記の手順で抽出した。

①全国を【北海道、東北、関東、信越・北陸、東海、近畿、中国、四国、九州・沖縄】の9つのブロックに分ける。

②各ブロック内の学校数に応じて抽出する都市の数を設定し、無作為に20都市【登別市（北海道）、弘前市（青森県）、名取市（宮城県）、市川市（千葉県）、銚田町（茨城県）、世田谷区（東京都）、秩父市（埼玉県）、村上市（新潟県）、婦中町（富山県）、可児市（岐阜県）、桑名市（三重県）、福崎町（兵庫県）、新宮市（和歌山県）、草津市（滋賀県）、境港市（鳥取県）、福山市（広島県）、阿波町（徳島県）、北九州市小北区（福岡県）、加治木町（鹿児島県）、日南市（宮崎県）、浦安市（千葉県）】を選ぶ。

③選ばれた都市内の男女共学の公立小学校、中学校、高等学校（全日制普通科）の中から、「全国学校総覧」のデータに基づき、最も生徒数の多い学校を選ぶ。

なお、別途、公立図書館の活動が盛んな1都市を抽出し、無作為に小学校、中学校、高等学校を抽出した。

③ サンプル数

各校・各学年とも40人×2クラス＝80サンプルを上限として調査票を配布したが、児童・生徒の在籍者数が80人に満たない場合があり、最終的なサンプル数は以下の通りとなった。

	児童・生徒 サンプル数	保護者 サンプル数
小学校2年生	1,500	1,500
小学校5年生	1,526	1,526
中学校2年生	1,545	1,545
高校2年生	1,311	1,311
計	5,882	5,882

④ 調査方法

各学校から児童・生徒に手渡し、郵送回収によるアンケート調査

⑤ 調査時期

平成17年3月22日～3月28日

(2) 調査項目

調査項目は以下の通りである。

調査項目		児童・生徒調査			保護者調査
		小2	小5	中・高	
プロフィール	性別	○	○	○	○
	年齢（学年）	○	○	○	○
日ごろの読書の状況	本を読むことについて	○	○	○	○
	本を読む理由	○	○	○	○
	本を読む場所	○	○	○	○
	一か月の間に読んだ本の数	○	○	○	○
	本を読まなかった理由	○	○	○	○
	本を読む時間がなかった理由	○	○	○	—
	所有している本の数	—	—	—	○
	所有しているマンガの数	—	—	—	○
地域の図書館の利用状況	一か月の間に地域の図書館に行った回数	○	○	○	○
	一か月の間に、地域の図書館から借りた本の数	—	—	—	○
	一か月の間に、子どもと一緒に地域の図書館に行った回数	—	—	—	○
	普段利用している図書館に行く時の交通手段	—	—	—	○
	普段利用している図書館に行く時の所要時間	—	—	—	○
	一か月の間に地域の図書館から借りた本の数	○	○	○	—
	一か月の間に、学校の図書館に行った回数	○	○	○	—
	一か月の間に学校の図書館から借りた本の冊数	○	○	○	—
書店の利用状況	「おはなし会」への参加状況	○	○	○	—
	一か月の間に、子どもと一緒に書店に行った回数	—	—	—	○
	一か月の間に、子どもに買い与えた本の数	—	—	—	○
	最もよく利用している書店へ行く時の交通手段	—	—	—	○
子どもの読書活動の支援	最もよく利用している書店へ行く時の所要時間	—	—	—	○
	子どもが本を読んでもらった経験	○	○	○	○
	自分の子どもに本の読み聞かせをしていた時期	—	—	—	○
	自分の子どもに本の読み聞かせをしていた頻度	—	—	—	○
	子どもの読書活動を推進するためにしていること	—	—	—	○
	子どもの読書活動を進めるために必要なこと	—	—	—	○
自由意見		—	—	—	○

3 回収結果

回収結果は以下の通りである。

	全体	児童・生徒	保護者
配布数	11,764	5,882	5,882
回収数	4,589	2,322	2,267
回収率	39.0%	39.5%	38.5%



<児童・生徒 内訳>

	小 2	小 5	中 2	高 2
配布数	1,500	1,526	1,545	1,311
			2,856	
回収数	653	641	535	493
			1,028	
回収率	42.9%	41.9%	34.6%	37.6%
			36.0%	

第2章 調査結果の概要（要約）

1 子どもと保護者の読書の状況

(1) 日頃の読書の状況

- ★児童・生徒は8割、保護者は7割が本を読むことが「好き」「どちらかといえば好き」
- ★児童・生徒は、保護者よりも多くの本を読んでいる
- ★児童・生徒は、本よりもマンガを多く読んでいる

<児童・生徒調査>

- ・ 本を読むことが「好き」、「どちらかといえば好き」を合わせると、8割の児童・生徒が本を読むことが好きと回答している。
- ・ 本を読む理由は、「おもしろいから、楽しいから（82.6%）」が最も多い。
- ・ 本を読む場所は、「自分の家や友達の家（82.7%）」が最も多く、「教室」、「学校の図書館」、「町の図書館」などが続く。
- ・ 一か月に読んだ冊数は、「4～6冊（17.4%）」が最も多い。
- ・ 本を読まなかった理由は「本を読む時間がないから（46.4%）」が最も多く、次いで「本を読むのが嫌いだから」、「読みたい本がないから」が続く。
- ・ 一か月の間に読んだマンガの冊数は、「21冊以上（17.1%）」が最も多い。

<保護者調査>

- ・ 本を読むことが「好き」、「どちらかといえば好き」を合わせると、7割の保護者が本を読むことが好きと回答している。
- ・ 本を読む理由は、「娯楽のため（57.2%）」が最も多い。
- ・ 本を読む場所は、9割以上が「自宅（94.8%）」と回答している。
- ・ 一か月に読んだ冊数は、「0冊（27.4%）」が最も多い。
- ・ 本を読まなかった理由は「仕事や家事で忙しいから（69.1%）」が圧倒的に多い。
- ・ 所有している本の数は、「1～50冊（37.2%）」が最も多い。所有冊数の分布は比較的広く、「401冊以上（10.1%）」所有している人も1割程度みられる。
- ・ 所有しているマンガの数は「1～50冊（56.6%）」が最も多い。

(2) 図書館の利用状況

- ★低学年の児童・生徒ほど、地域の図書館や学校図書館を利用している
- ★保護者は、図書館で本を借りない人と数多く借りる人の層に分かれている

<児童・生徒調査>

- ・ 一か月の間に地域の図書館へ1回以上行った児童・生徒は38.5%である。
- ・ 一か月の間に読んだ本のうち地域の図書館から借りた本は「0冊（70.9%）」が最も多

いが、小学校2年生では5割近くが地域の図書館で借りた本を読んでいる。

- ・ 一か月の間に学校の図書館へ行った児童・生徒は74.3%である。小学生では8割以上が学校の図書館へ行っているが、中高生では5割である。
- ・ 一か月の間に読んだ本のうち学校の図書館から借りた本は「0冊（42.6%）」が最も多いが、低学年の児童・生徒ほど学校の図書館から本をよく借りている。
- ・ おはなし会に参加したことがある児童・生徒は36.0%である。

<保護者調査>

- ・ 一か月の間に図書館へ1回以上行った保護者は35.1%で、そのうち子どもと一緒に1回以上行った人は63.5%である。
- ・ 一か月の間に1回以上図書館へ行った人が借りた本は「0冊（23.0%）」、「4～6冊（21.0%）」が各2割台で多く、本を借りない人と数多く借りる人の層に分かれていると考えられる。
- ・ 普段利用している図書館へ行く時の交通手段は「車（67.4%）」が多く、所要時間は「10分以内（31.2%）」と「15分以内（26.7%）」の合計で半数以上を占める。

（3）書店の利用状況

★子どもと書店へ行く回数は月1、2回であり、買い与える本の冊数は0冊が約半数である

<保護者調査>

- ・ 一か月の間に子どもと一緒に書店へ行った回数は、「1回～2回（42.2%）」が最も多い。
- ・ 一か月の間に子どもに買い与えた本の数は「0冊（45.8%）」、「1冊（23.4%）」などとなっている。
- ・ 最も利用している書店へ行く時の交通手段は「車（73.0%）」が圧倒的に多く、図書館と比べ、自転車や徒歩の割合が低くなっている。所要時間は「10分以内（24.3%）」、「15分以内（22.2%）」が半数近い。

2 子どもの読書活動への支援の状況

(1) 子どもの読書に期待すること

★保護者は、読書によって、子どもが読解力を身につけたり、知識を増やすことを期待している

<保護者調査>

- ・ 子どもの読書に期待することは、「読解力が身につく (71.2%)」が最も多く、次いで「知識が増える (64.8%)」があげられる。

(2) 子どもへの支援の内容

★本を買い与える、本のことについて話をする、図書館へ連れて行く、読んだらほめる、などの行為によって、子どもの読書活動を支援している保護者が多い

<保護者調査>

- ・ 子どもの読書活動への支援は「本を買い与える (47.8%)」が最も多い。次いで「本のことについて話をする (44.4%)」、「図書館に連れて行く (42.7%)」、「子どもが本を読んだらほめる (41.1%)」が続く。

(3) 読み聞かせの状況

★保護者自身は、小さい頃に読み聞かせをしてもらった経験があまりないが、ほとんどの子どもは読み聞かせをしてもらった経験がある

<児童・生徒調査>

- ・ 「よく読んでもらった (50.0%)」、「時々読んでもらった (37.1%)」をあわせると、約9割の児童・生徒が小さい頃に本を読んでもらった経験がある。

<保護者調査>

- ・ 「あまり読んでもらえなかった (39.2%)」、「読んでもらえなかった (19.9%)」をあわせると、半数以上の保護者は子どもの頃本を読んでもらった経験が少ない。
- ・ 子どもに読み聞かせをしていた時期は「6歳になるまで (25.3%)」と「小学校低学年まで (22.0%)」が多い。読み聞かせの頻度は、ほとんどが毎日か数日おきである。

(4) 子どもの読書活動を推進するために必要なこと

★子どもの読書活動を推進するために必要なこととして、学校では「読書の時間の設定」、家庭では「本のことについて話をする」、「図書館へ連れて行く」、地域では「公共図書館における児童コーナーの設置や児童書の充実」があげられた

<保護者調査>

- ・ 学校での活動は「読書の時間の設定（70.6%）」、「読み聞かせ（47.9%）」、「調べ学習など図書館を使った学習の充実（43.4%）」などが多い。
- ・ 家庭での活動は「本のことについて話をする（56.3%）」、「図書館へ連れて行く（50.0%）」、「子どもが本を読んだらほめる（47.6%）」などが多い。
- ・ 地域での活動は「公共図書館における児童コーナーの設置や児童書の充実（62.2%）」、「読書に関するイベントの実施や広報活動の充実（31.5%）」などが多い。

3 保護者の読書活動が子どもの読書活動へ及ぼす影響

★読書の好きな保護者の子どもは、読書が好きという傾向が認められる

- ・ 保護者が本を読むことが好きか嫌いに関わらず、児童・生徒の8割以上が本を読むことが好きと回答しているが、保護者の読書好きの程度が高くなるほど、本を読むことが好きな児童・生徒の割合が高くなる傾向がある。

4 保護者の支援が子どもの読書活動へ及ぼす影響

★「家に本をたくさん置く」、「図書館に連れて行く」などの支援を保護者がしている場合、その家庭では本を読むことが好きな児童・生徒の割合が高い

- ・ 子どもの読書活動を推進するための活動を実施している場合、本を読むことが好きな児童・生徒の割合が多い。特に、「家に本をたくさん置く」、「図書館に連れて行く」の2項目では、実施していない場合と比べて本を読むことが好きな児童・生徒の割合が高い。
- ・ 読み聞かせをしていなかった保護者の子どもは、一か月の間に本を一冊も読まなかった割合が高い。

5 マンガと読書の関係

★多くのマンガを所有している児童・生徒は、本も好きでよく読んでいる

＜児童・生徒調査＞

- ・ マンガを 151 冊～200 冊所有している児童・生徒は、「本を読むことが好き（92.6%）」が9割を超えている。
- ・ マンガを 150 冊以上所有している児童・生徒は、150 冊以下の児童・生徒と比べて、1 か月の間に 1 冊以上の本を読んでいる割合が高い。

6 地域の環境と読書の関係

★図書館が身近にある地域、児童書が充実している図書館がある地域では、児童・生徒および保護者は図書館をよく利用している

＜児童・生徒調査＞

- ・ 児童・生徒は、図書館が身近にある地域、児童書が充実している図書館のある地域、新しく図書館ができた地域などで、図書館をよく利用している。

＜保護者調査＞

- ・ 保護者は、図書館が身近にある地域、児童書が充実している図書館のある地域、新しく図書館ができた地域などで、図書館をよく利用している。

第3章 アンケート調査の結果

1 子どもと保護者の読書の状況

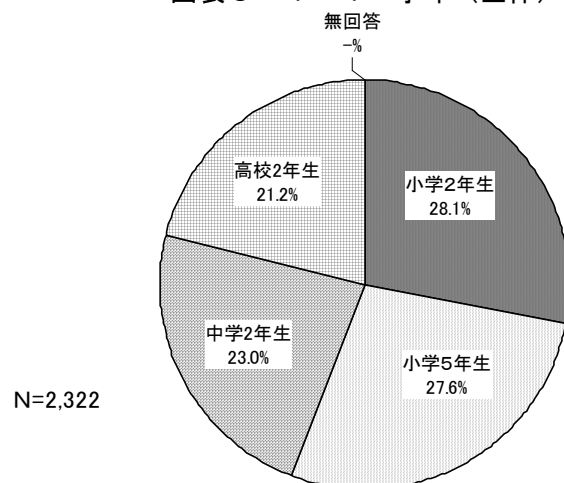
(1) プロフィール

①学年・年齢

<児童・生徒調査（問1）>

回答者の学年は、「小学校2年生（28.1%）」、「小学校5年生（27.6%）」、「中学2年生（23.0%）」、「高校2年生（21.1%）」となっている。

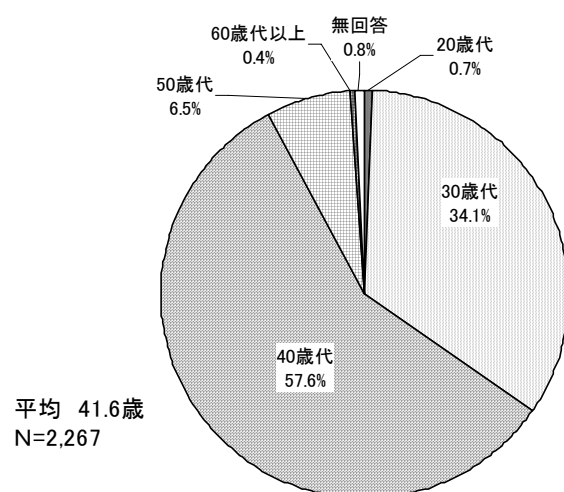
図表3-1-1 学年（全体）



<保護者調査（問2）>

回答者の年齢は、「40歳代（57.6%）」、「30歳代（34.1%）」がほとんどである。平均年齢は41.6歳である。

図表3-1-2 年齢（全体）

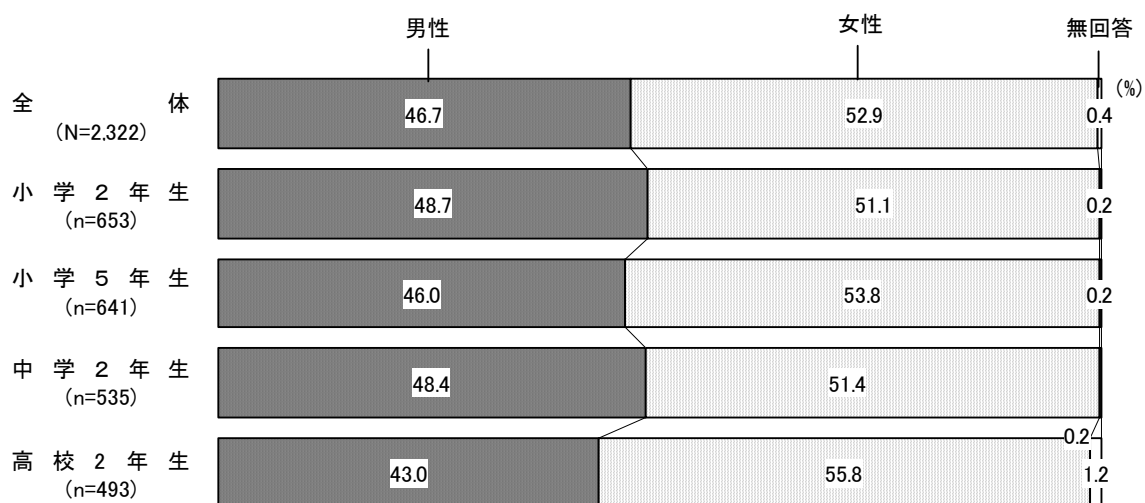


②男女比

<児童・生徒調査(問2)>

回答者の男女比は、「男性(46.7%)」、「女性(52.9%)」で、女性の方がやや多い。

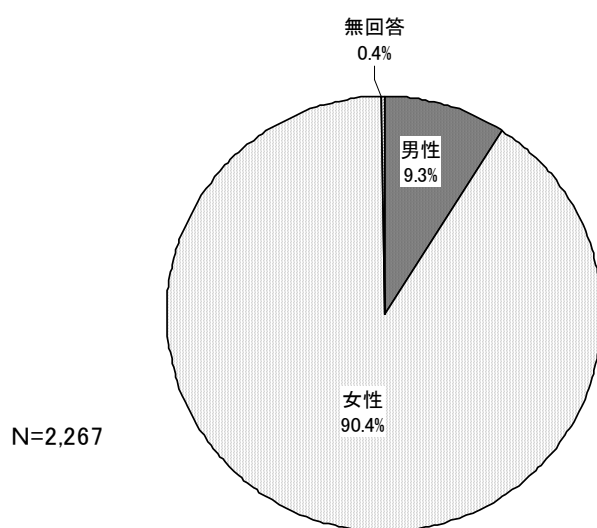
図表3-1-3 男女比(全体、学年別)



<保護者調査(問1)>

「男性」が9.3%、「女性」が90.4%であり、回答者の殆どが女性(母親)である。

図表3-1-4 男女比(全体)



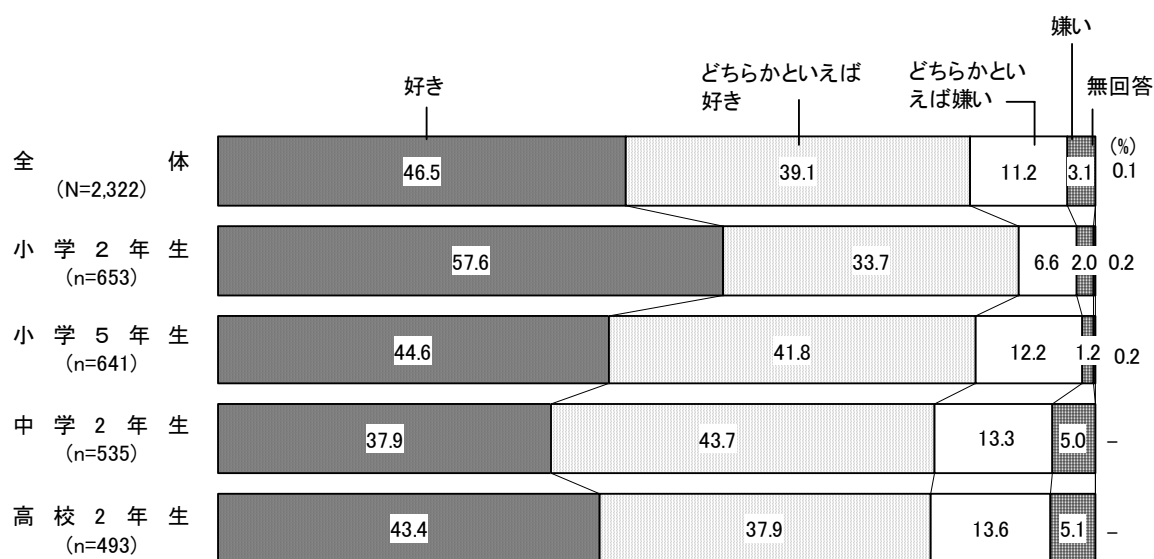
(2) 日ごろの読書の状況

①本を読むことについて

<児童・生徒調査（問3）>

本を読むことが「好き(46.5%)」、「どちらかといえば好き(39.1%)」という回答は全体の8割以上(85.6%)である。

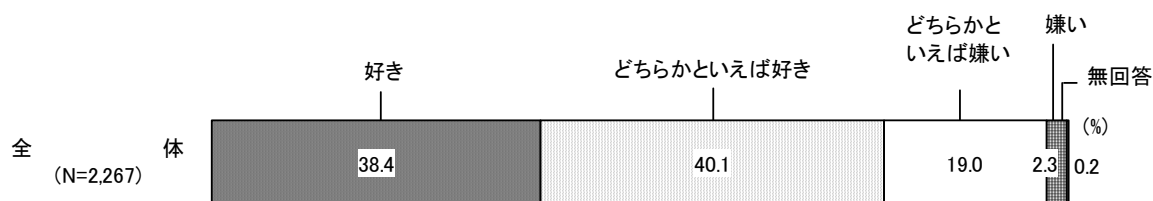
図表3-1-5 本を読むことについて（全体、学年別）



<保護者調査（問3）>

本を読むことが「好き(38.4%)」、「どちらかといえば好き(40.1%)」という回答は全体の7割以上(78.5%)である。

図表3-1-6 本を読むことについて（全体）

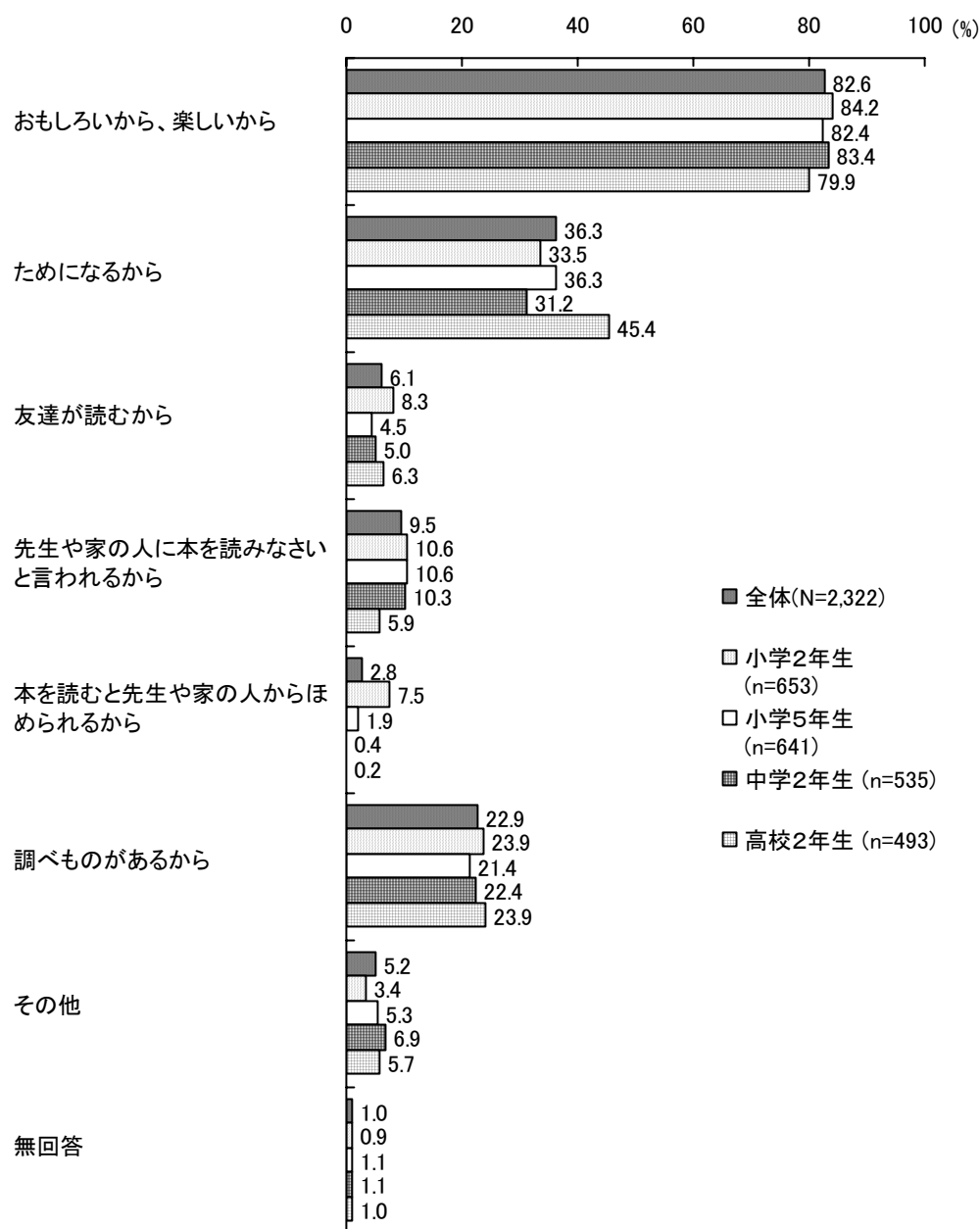


②本を読む理由

<児童・生徒調査（問4 複数回答）>

本を読む理由は、「おもしろいから、楽しいから(82.6%)」が最も多く、「ためになるから(36.3%)」、「調べものがあるから(22.9%)」などが続いている。

図表3-1-7 本を読む理由（全体、学年別）

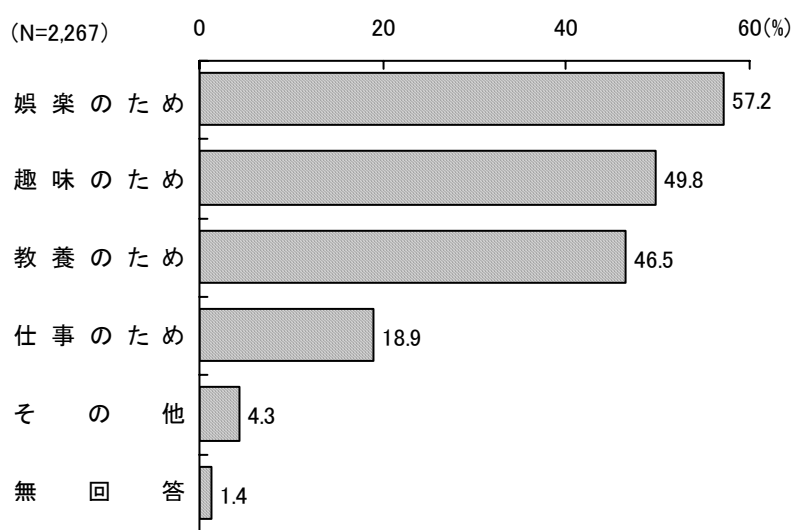


<保護者調査（問4、複数回答）>

本を読む理由は、「娯楽のため（57.2%）」が最も多く、「趣味のため（49.8%）」、「教養のため（46.5%）」が続いている。

注）「娯楽のため」とは、小説等を楽しみのために読むこと、「趣味のため」とは園芸や料理等趣味活動のために本を読むことを想定している。

図表3-1-8 本を読む理由（全体）



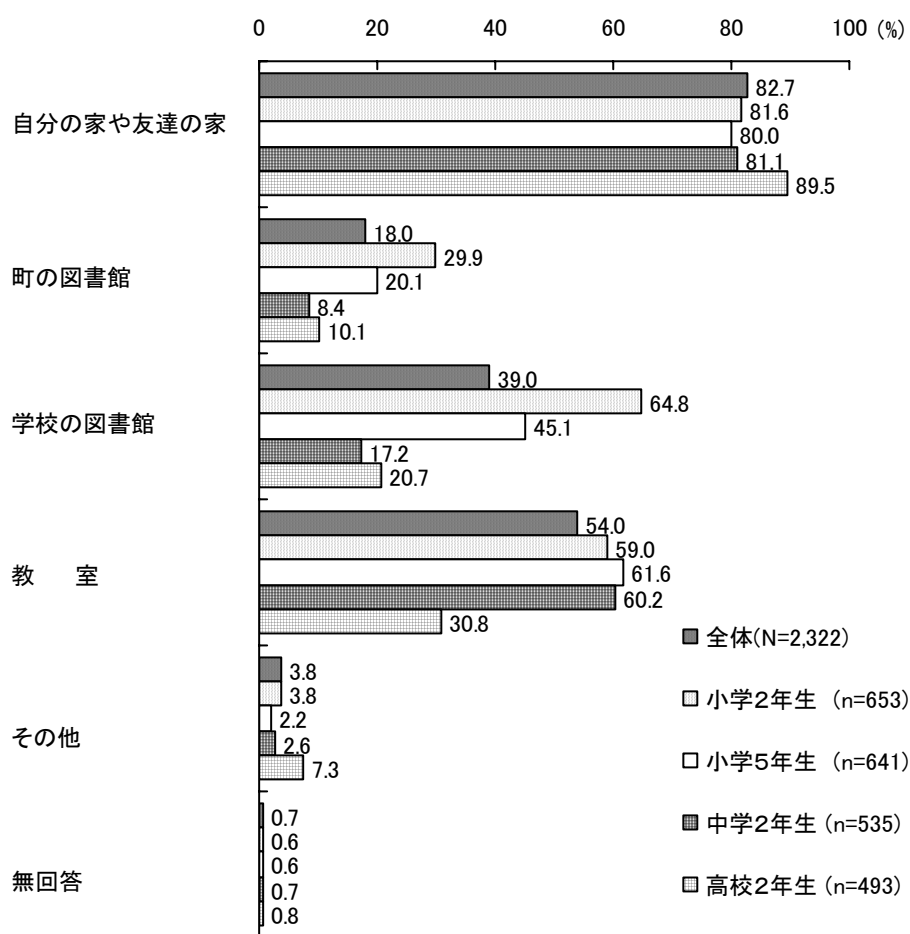
③本を読む場所

<児童・生徒調査（問5 複数回答）>

本を読む場所は、「自分の家や友達の家(82.7%)」が最も多く、次いで「教室(54.0%)」、「学校の図書館」(39.0%)、「町の図書館」(18.0%)となっている。

学年別にみると、「町の図書館」、「学校の図書館」は学年が上がるにつれて少なくなる傾向にある。

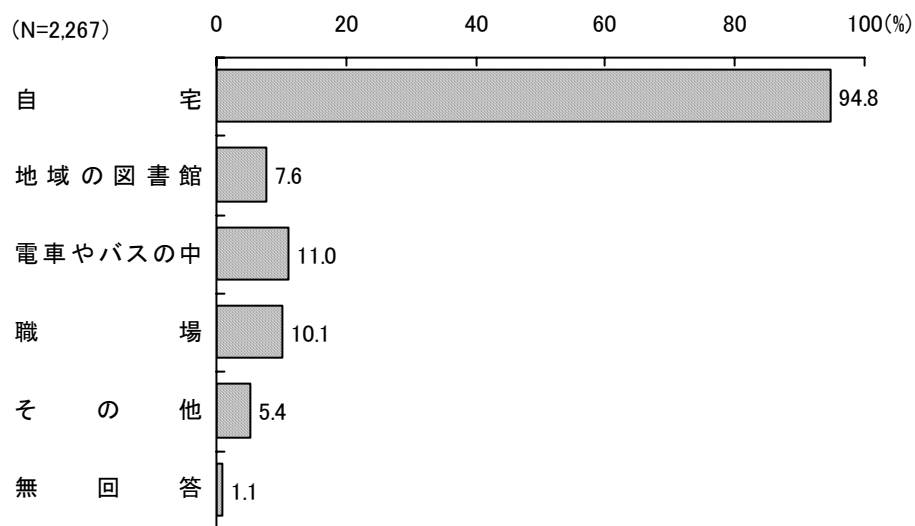
図表3-1-9 本を読む場所（全体、学年別）



<保護者調査（問5、複数回答）>

本を読む場所は「自宅（94.8%）」が殆どであるが、「電車やバスの中（11.0%）」という回答も1割となっている。

図表3-1-10 本を読む場所（全体）



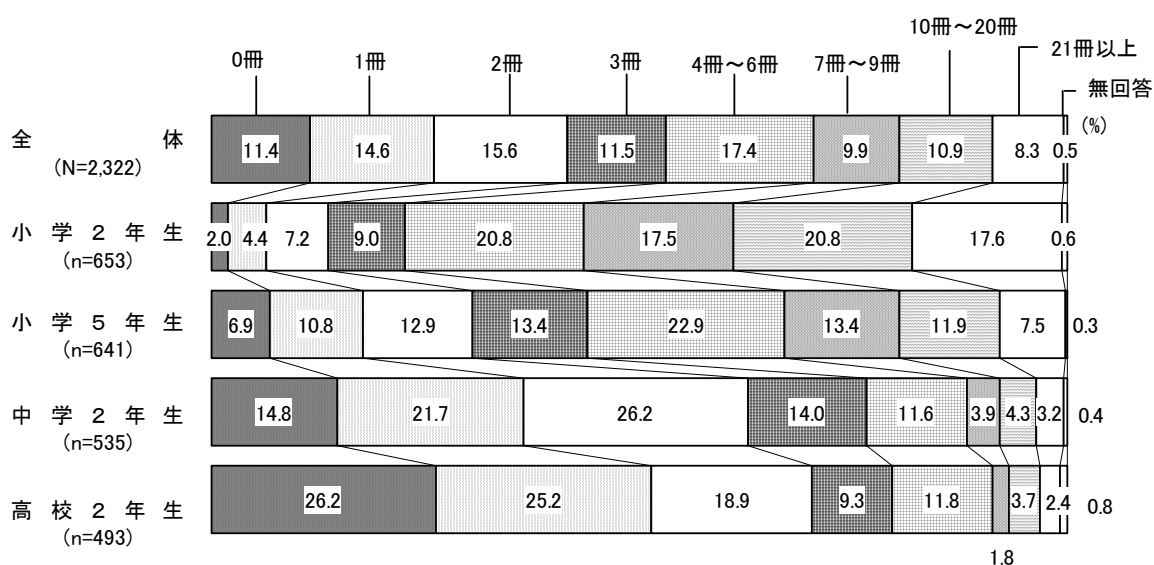
④一か月に読んだ本の数

<児童・生徒調査（問6）>

1か月に読んだ本の数は、「4冊～6冊(17.4%)」が最も多く、次いで「2冊(15.6%)」、「1冊(14.6%)」などとなっている。

学年別にみると、学年があがるにつれて、本を一冊も読まない割合が高くなっている。

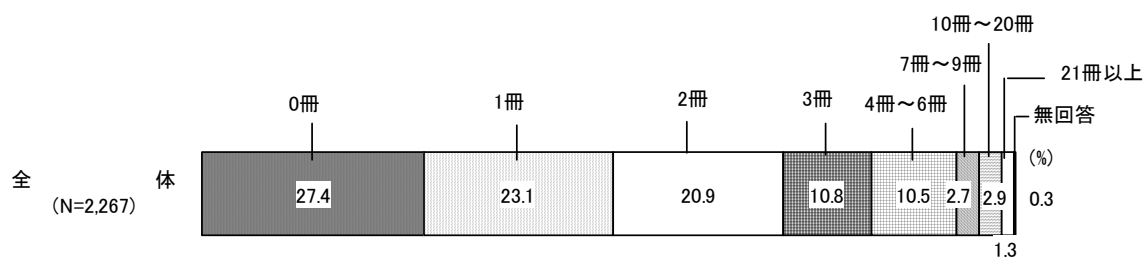
図表3-1-1 一か月に読んだ本の数（全体、学年別）



<保護者調査（問6）>

一ヶ月の間に読んだ本の数は、「0冊(27.4%)」が多く、「1冊(23.1%)」、「2冊(20.9%)」が続いている。10冊以上読んだ人は4.2%である。

図表3-1-2 一ヶ月に読んだ本の数（全体）



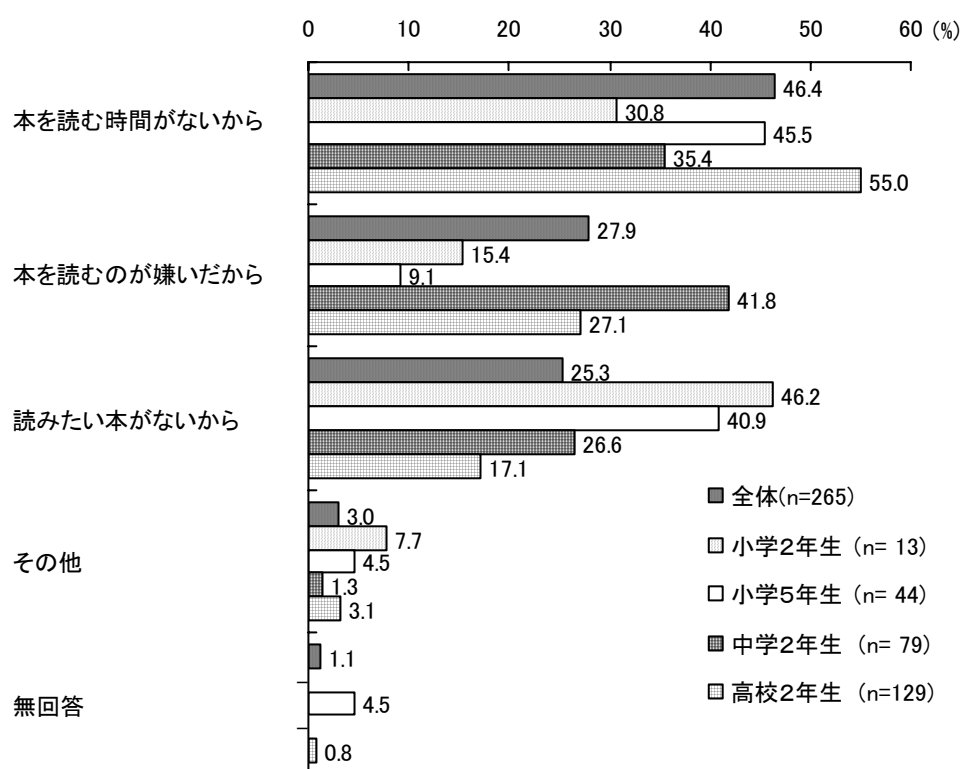
⑤本を読まなかった理由

<児童・生徒調査（問7）>

一ヶ月の間に本を読まなかった人にその理由をたずねたところ、「本を読む時間がないから(46.4%)」が最も多く、「本を読むのが嫌いだから(27.9%)」、「読みたい本がないから(25.3%)」が続いている。

学年別にみると、本を読まなかった理由の第1位は小学校2年生は「読みたい本がないから(46.2%)」、小学校5年生は「本を読む時間がないから(45.5%)」、中高生では「本を読む時間がないから(47.6%)」となっている。

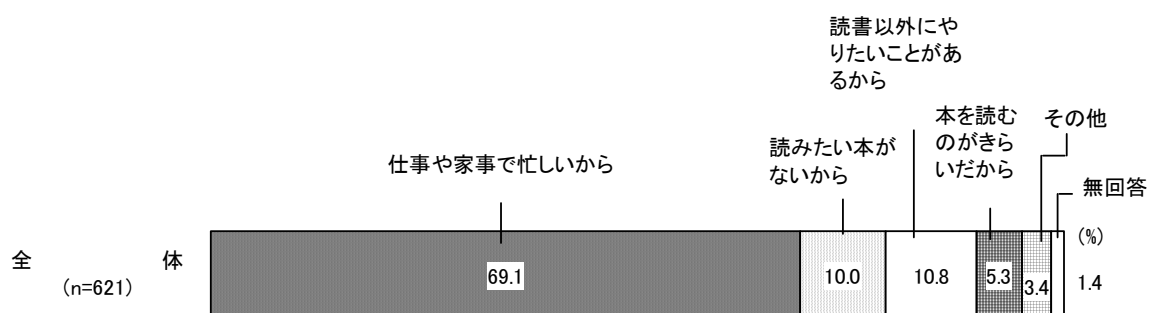
図表3-1-13 本を読まなかった理由（全体、学年別）



<保護者調査（問7）>

一ヶ月の間に本を読まなかった人にその理由をたずねたところ、「仕事や家事で忙しいから（69.1%）」が圧倒的に多くなっている。

図表 3－1－14 本を読まなかった理由（全体）

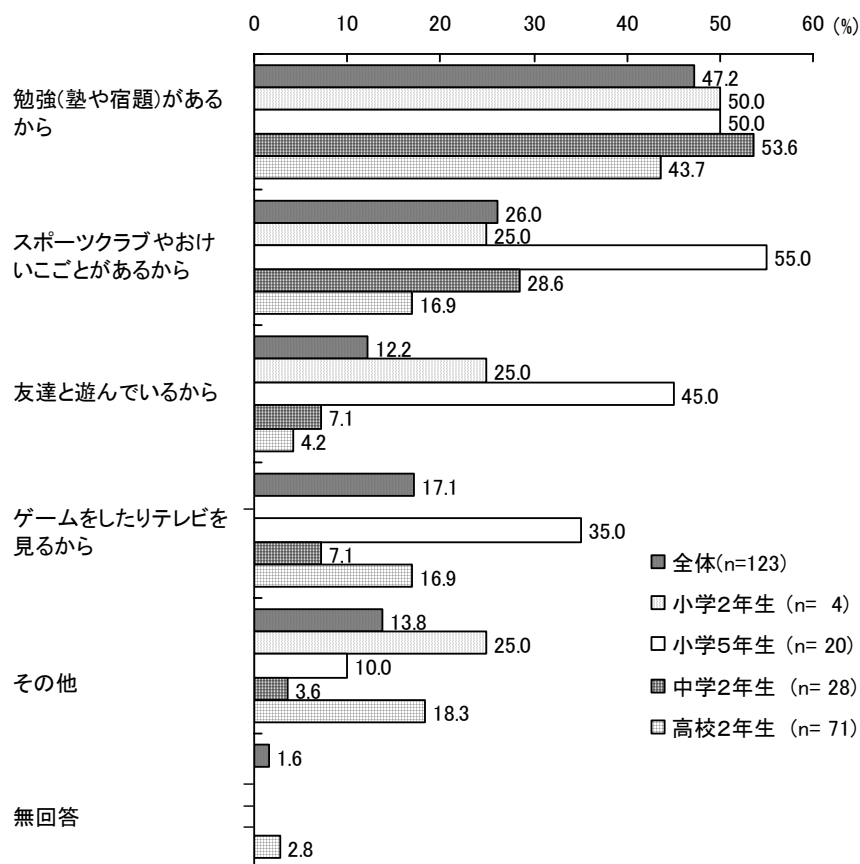


⑥本を読む時間がなかった理由

<児童・生徒調査（問8）>

本を読む時間がなかった人にその理由をたずねたところ、「勉強があるから(47.2%)」が最も多く、「スポーツクラブやおけいごとがあるから(26.0%)」が続いている。

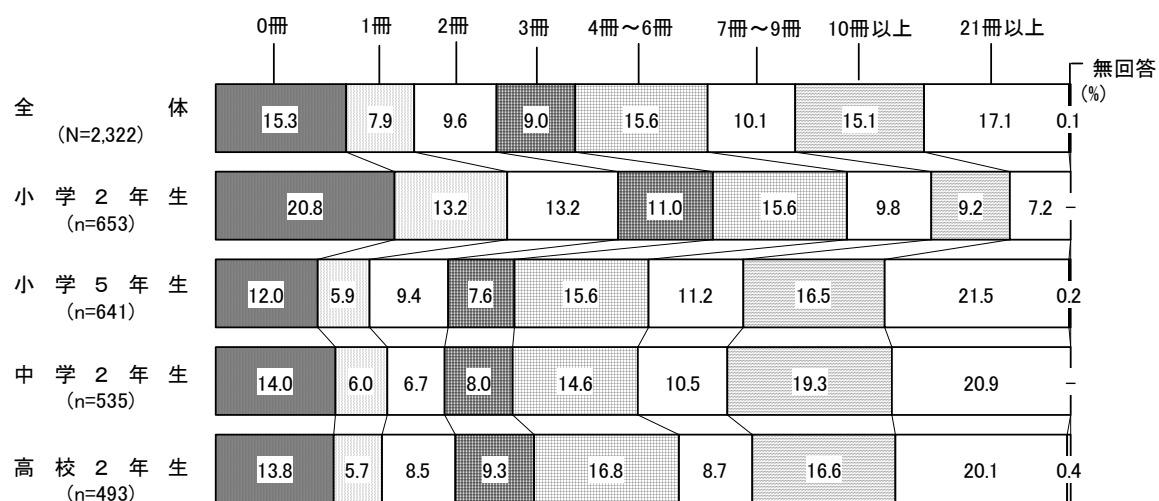
図表3-1-15 本を読む時間がなかった理由（全体、学年別）



⑦一ヶ月の間に読んだマンガの数（問 15）

一ヶ月の間に読んだマンガの数は、「21 冊以上（17.1%）」、「4 冊から 6 冊（15.6%）」
「0 冊（15.3%）」「10 冊から 20 冊（15.1%）」の順になっている。マンガは、マンガ以外
の本に比べるとよく読まれている。

図表 3－1－16 一か月の間に読んだマンガの数（全体、学年別）

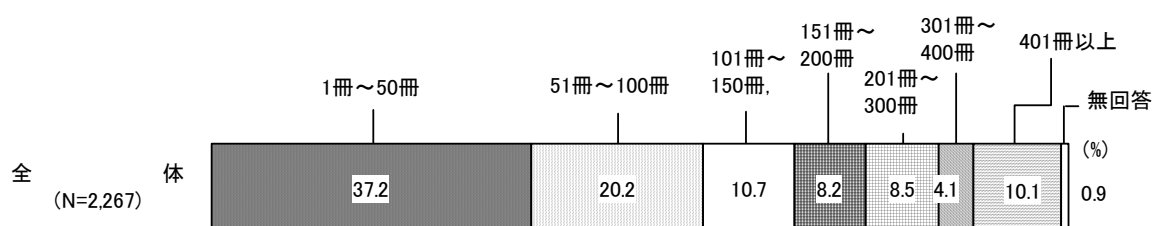


⑥所有している本の数

<保護者調査（問8）>

所有している本の数では、「1冊～50冊（37.2%）」が最も多く、「51冊～100冊（20.2%）」が続いている。所有冊数の分布は比較的広く、「401冊以上（10.1%）」所有している人も1割程度みられる。

図表3-1-17 所有している本の数（全体）

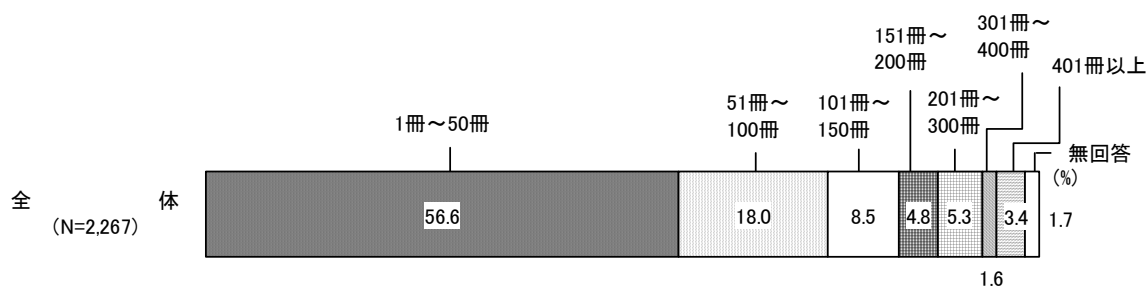


⑦所有しているマンガの数

<保護者調査（問9）>

所有しているマンガの数では、「1冊～50冊（56.6%）」が大半を占め、「51冊～100冊（18.0%）」が続いている。

図表3-1-18 所有しているマンガの数（全体）



(3) 図書館の利用状況

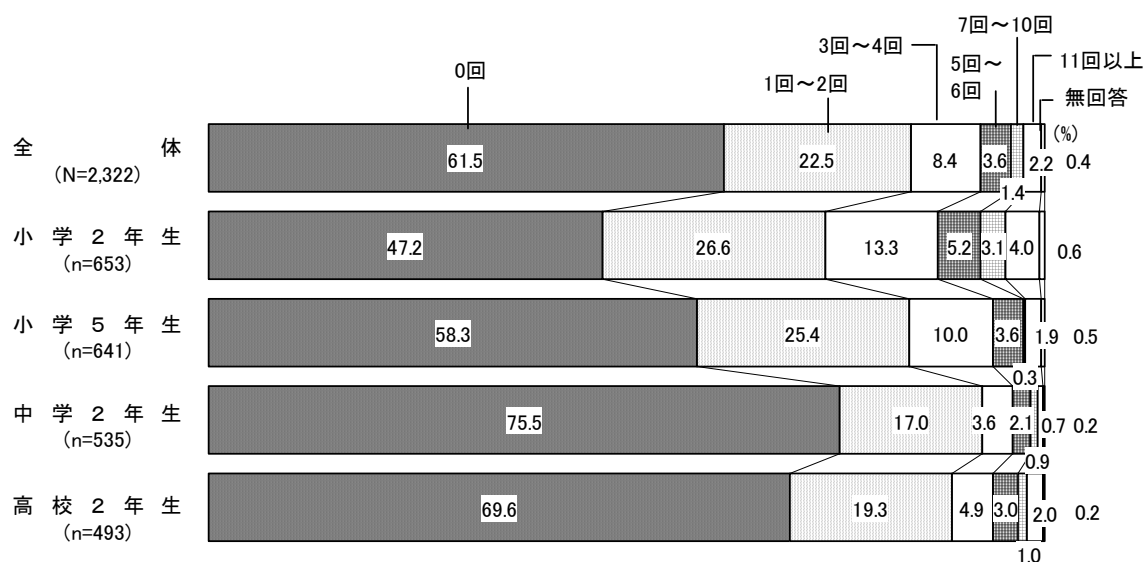
①一ヶ月の間に地域の図書館へ行った回数

<児童・生徒調査（問 10）>

一ヶ月の間に地域の図書館へ行った回数では、1 回以上行った割合は 38.1%、行かなかった（0 回）は 61.5%である。

学年別にみると、一ヶ月の間に地域の図書館に 1 回以上行っている児童・生徒の割合は、小学校 2 年生では 5 割以上、小学校 5 年生では 4 割以上、中高生では 3 割弱で、学年があるにつれて行く回数が少なくなっているとみられる。

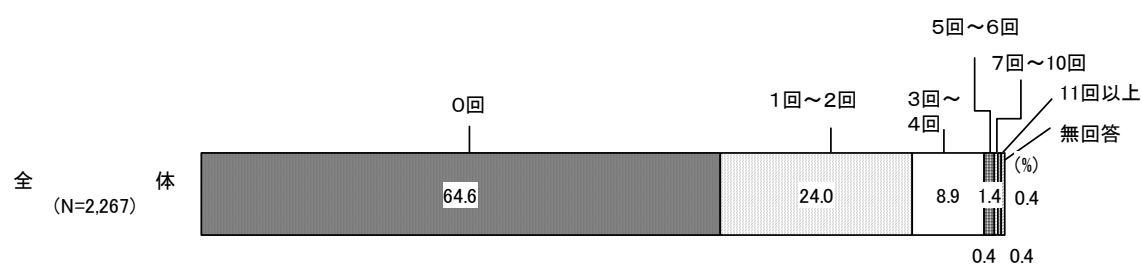
図表 3－1－19 一か月の間に地域の図書館へ行った回数（全体、学年別）



<保護者調査（問 10）>

一ヶ月の間に地域の図書館に行った回数では、1 回以上行った割合は 35.0%、行かなかった（0 回）は 64.6%である。

図表 3－1－20 一ヶ月の間に地域の図書館に行った回数（全体）

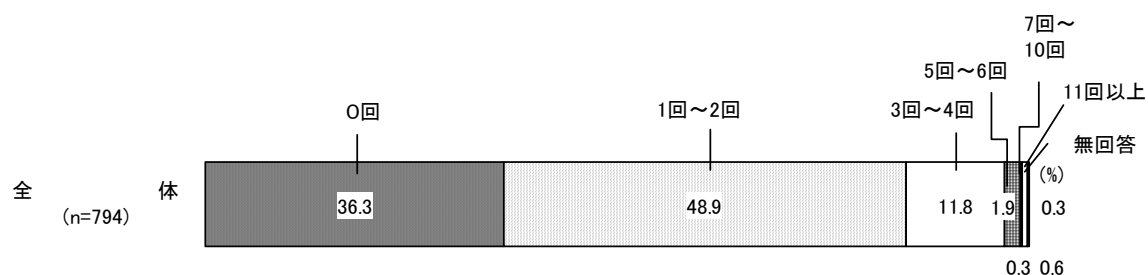


③一ヶ月の間に子どもと一緒に地域の図書館に行った回数

<保護者調査（問 12）>

一ヶ月の間に地域の図書館に1回以上行った人に、子どもと一緒に行った回数をたずねたところ、1回以上行った割合は63.5%であり、行かなかった（0回）は36.3%である。半数以上が子どもと一緒に図書館に行っていることがわかる。

図表3-1-2-1 一ヶ月の間に子どもと一緒に地域の図書館に行った回数（全体）



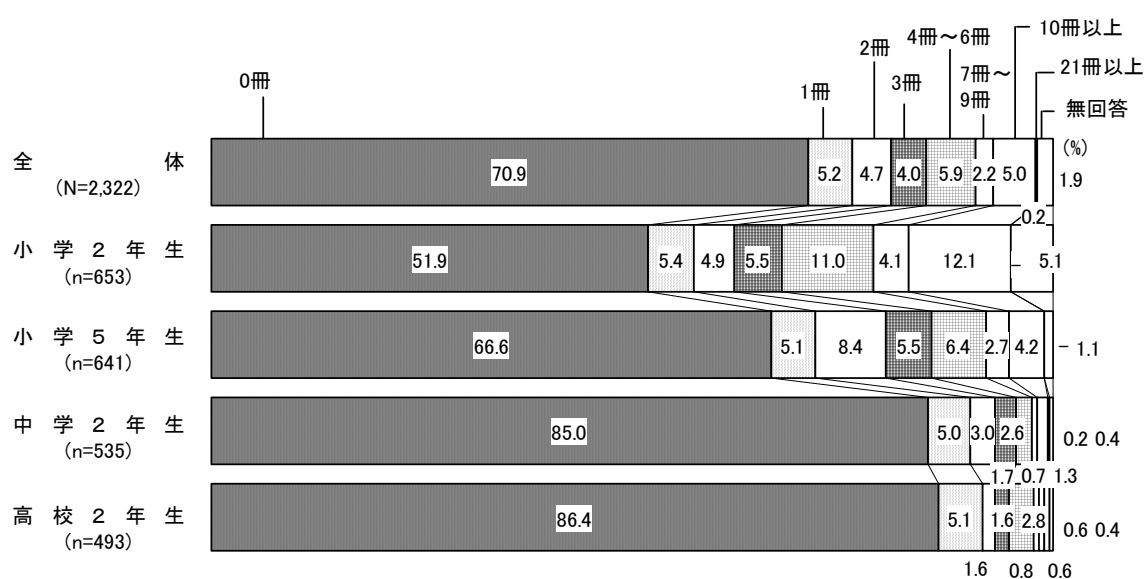
②一ヶ月の間に地域の図書館から借りた本の数

<児童・生徒調査（問 11）>

一ヶ月の間に読んだ本の中で地域の図書館から借りた本数をたずねたところ、「0 冊（70.9%）」が最も多い。

学年別にみると、いずれの学年でも「0 冊」が最も多いが、小学校 2 年生では「10 冊以上（12.1%）」、「4 冊から 6 冊（11.0%）」が各々 1 割以上となっている。

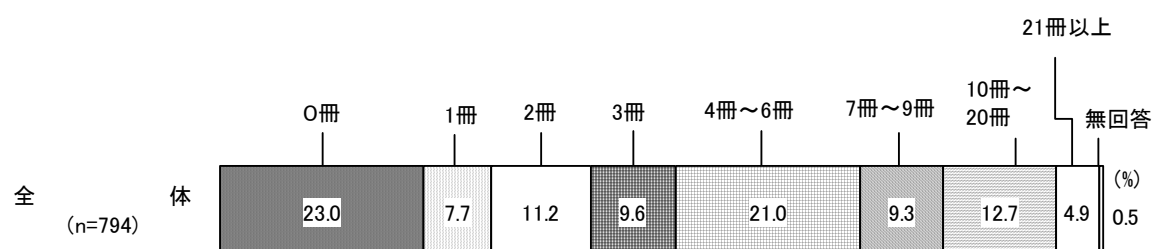
図表 3－1－2 2 一か月の間に地域の図書館から借りた本の数（全体、学年別）



<保護者調査（問 11）>

一ヶ月の間に地域の図書館に 1 回以上行った人に、借りた本数をたずねたところ、「0 冊（23.0%）」と「4～6 冊（21.0%）」が 2 割台で多く、以下「10 冊～20 冊（12.7%）」、「2 冊（11.2%）」が続いている。本を借りない人と、数多く借りる人の層に分かれていると考えられる。

図表 3－1－2 3 一ヶ月の間に地域の図書館から借りた本の数（全体）



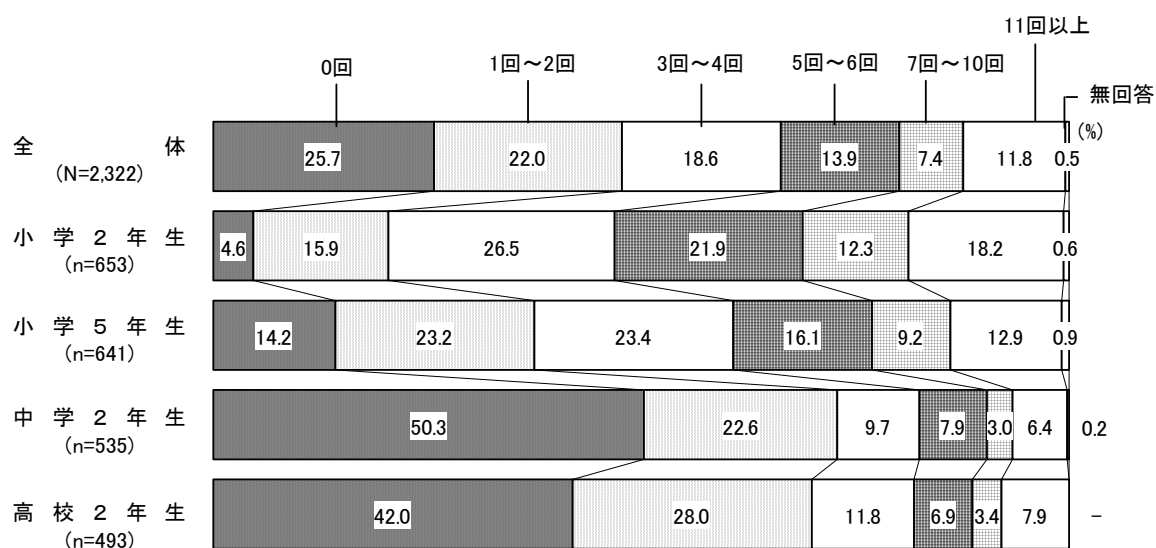
③一ヶ月の間に学校の図書館に行った回数

<児童・生徒調査（問12）>

一ヶ月の間に学校の図書館に行った回数では、1回以上行った割合は74.3%、行かなかった（0回）は25.7%である。

学年別にみると、小学校2年生では9割以上、小学校5年生では8割以上が学校の図書館に1回以上行ったことがあるが、中高生で学校の図書館へ1回以上行ったことがある割合は4～5割となっている。

図表3-1-24 一か月の間に学校の図書館に行った回数（全体、学年別）



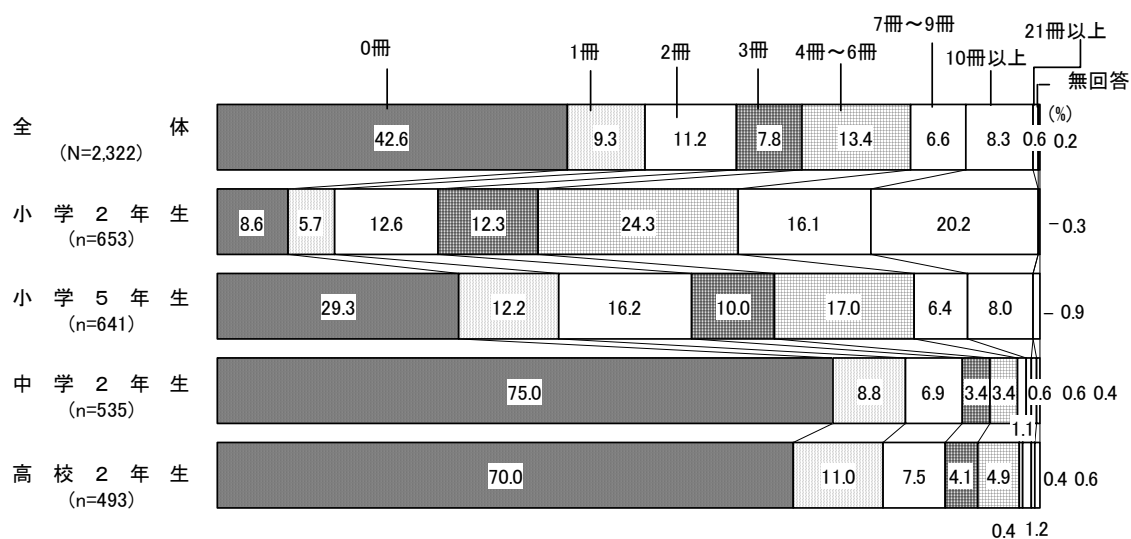
④一ヶ月の間に学校の図書館から借りて読んだ本の数

<児童・生徒調査（問 13）>

一ヶ月の間に読んだ本の中で学校の図書館から借りた本の数は、「0 冊（42.6%）」が最も多く、「4 冊から 6 冊（13.4%）」、「2 冊（11.2%）」などが続いている。

学年別にみると、一ヶ月の間に読んだ本のうち、学校で借りた本が 1 冊以上あった人の割合は、小学校 2 年生では 9 割、小学校 5 年生では 7 割、中高生では 3 割となっている。低学年の児童・生徒ほど、学校の図書館から本をよく借りているとみられる。

図表 3－1－25 一か月の間に学校の図書館から借りた本の数（全体、学年別）

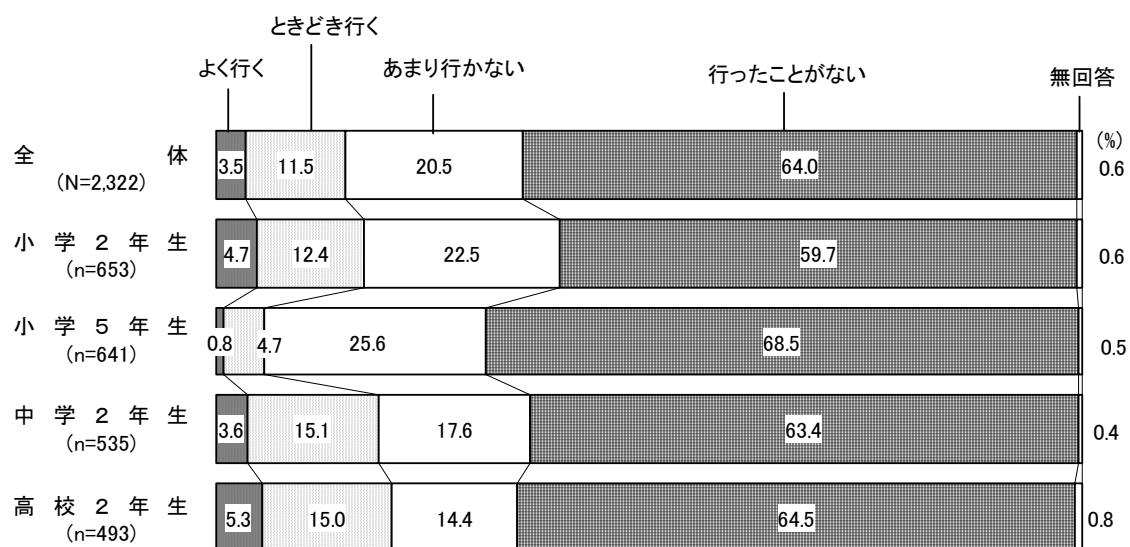


⑤おはなし会への参加状況

<児童・生徒調査（問14）>

おはなし会に参加したことがある人は35.4%、行ったことがない人は64.0%である。

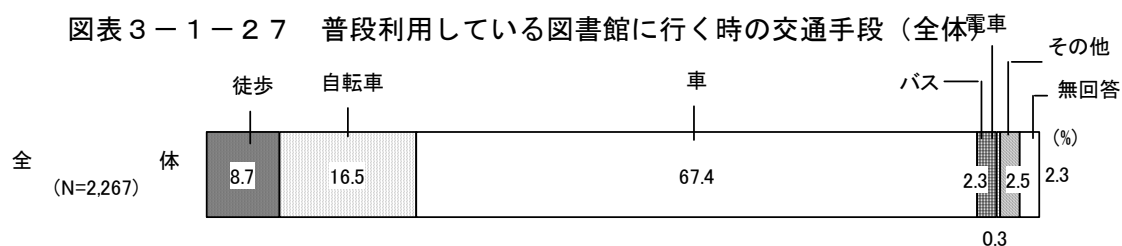
図表3-1-26 おはなし会への参加状況（全体、学年別）



④普段利用している図書館に行く時の交通手段

<保護者調査（問 13）>

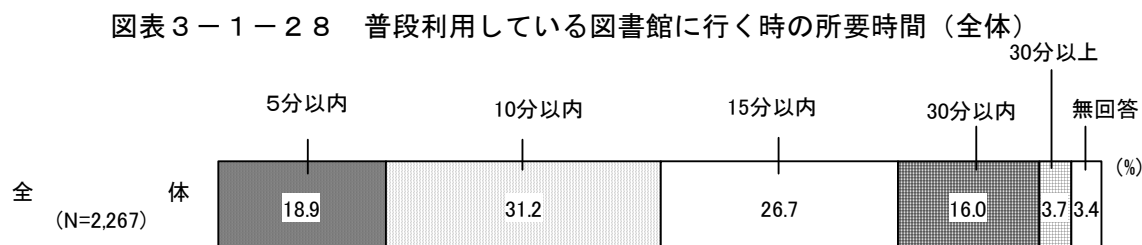
普段利用している図書館に行く時の交通手段をみると、「車（67.4%）」が圧倒的に多く、「自転車（16.5%）」、「徒歩（8.7%）」が続いている。



⑤普段利用している図書館に行く時の所要時間

<保護者調査（問 14）>

普段利用している図書館に行く時の所要時間をみると、「10 分以内（31.2%）」、「15 分以内（26.7%）」が大半である。



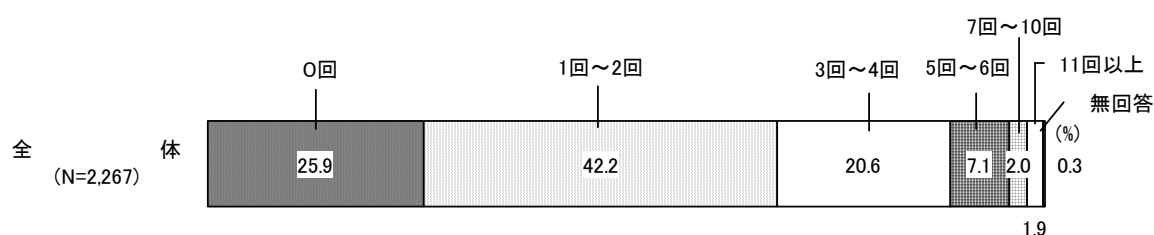
(4) 書店の利用状況

①一ヶ月の間に子どもと一緒に書店に行った回数

<保護者調査(問15)>

一ヶ月の間に子どもと一緒に書店に行った回数は「1回～2回(42.2%)」が最も多いが、「0回(25.9%)」という回答も4分の1程度となっている。

図表3-1-29 一ヶ月の間に子どもと一緒に書店に行った回数(全体)

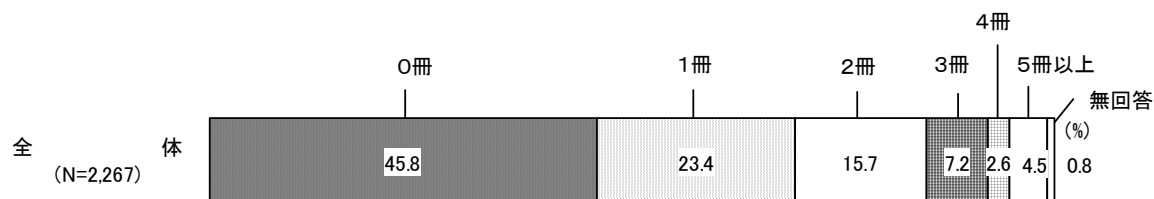


②一ヶ月の間に子どもに買い与えた本の数

<保護者調査(問16)>

一ヶ月の間に子どもに買い与えた本の数では「0冊(45.8%)」が最も多く、全く本を買い与えていないのが4割以上である。以下、「1冊(23.4%)」が続いている。

図表3-1-30 一ヶ月の間に子どもに買い与えた本の数(全体)

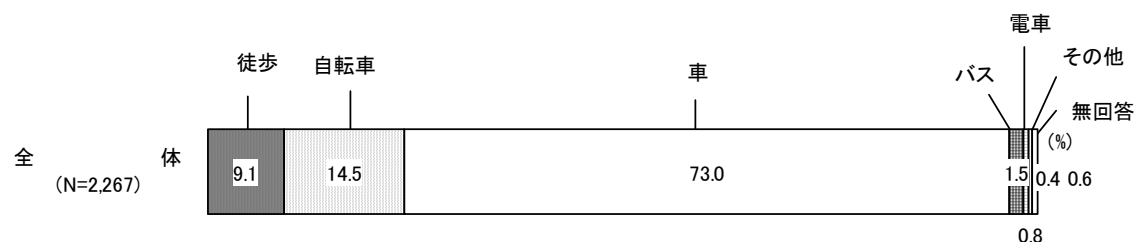


③最も利用している書店へ行くときの交通手段

<保護者調査（問 17）>

最も利用している書店に行くときの交通手段は、「車（73.0%）」が最も多い。最も利用している図書館と比較して、自転車や徒歩の割合が低くなっている。

図表 3－1－3 1 最も利用している書店へ行くときの交通手段（全体）

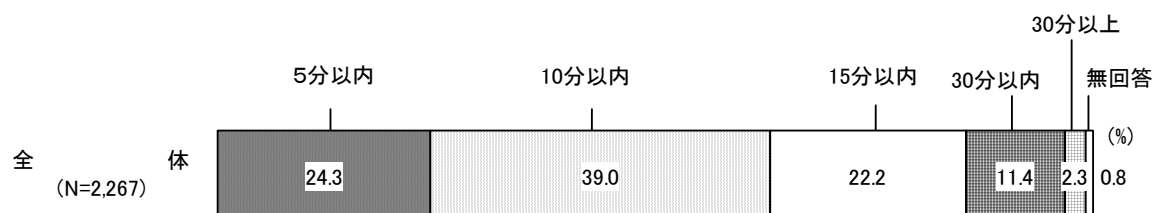


④最も利用している書店へ行くときの所要時間

<保護者調査（問 18）>

最も利用している書店へ行くときの所要時間をみると、「10 分以内（39.0%）」、「5 分以内（24.3%）」、「15 分以内（22.2%）」の順で多い。全体としては、最も利用している図書館への所要時間よりもやや短くなっている。

図表 3－1－3 2 最も利用している書店へ行くときの所要時間（全体）



2 子どもの読書活動への支援の状況

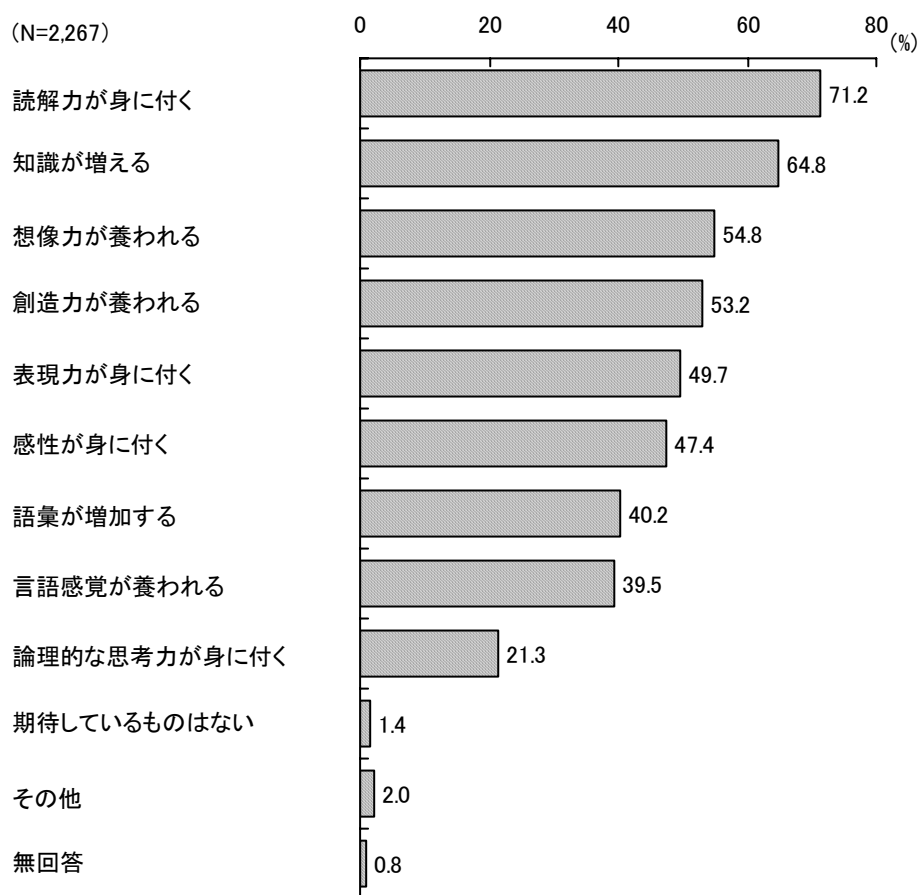
(1) 子どもの読書に期待すること

⑥子どもの読書に対して期待すること

<保護者調査（問 24、複数回答）>

子どもの読書に対して期待していることは、「読解力が身につく（71.2%）」、「知識が増える（64.8%）」「想像力が養われる（54.8%）」、「創造力が養われる（53.2%）」が上位に挙げられている。

図表 3－2－1 子どもの読書に対して期待すること（全体）



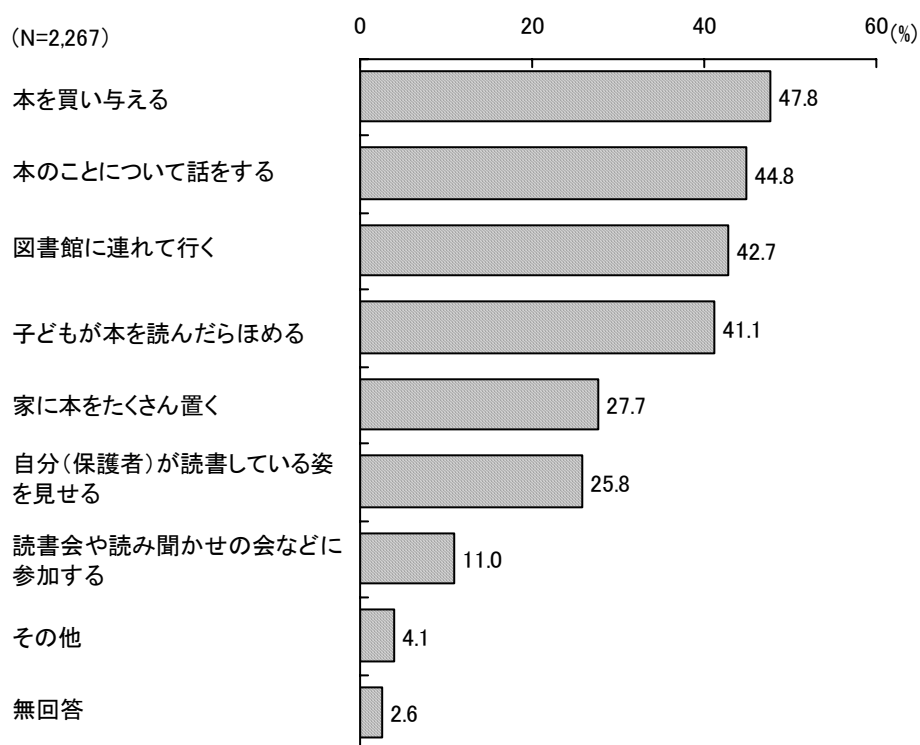
(2) 子どもへの支援の内容

④子どもの読書活動を推進するためにしていること

<保護者調査（問 22、複数回答）>

子どもの読書活動を推進するためにしていることでは、「本を買い与える（47.8%）」、「本のことについて話をする（44.8%）」、「図書館に連れて行く（42.7%）」、「子どもが本を読んだらほめる（41.1%）」が多い。

図表 3－2－2 子ども読書活動を推進するためにしていること（全体）



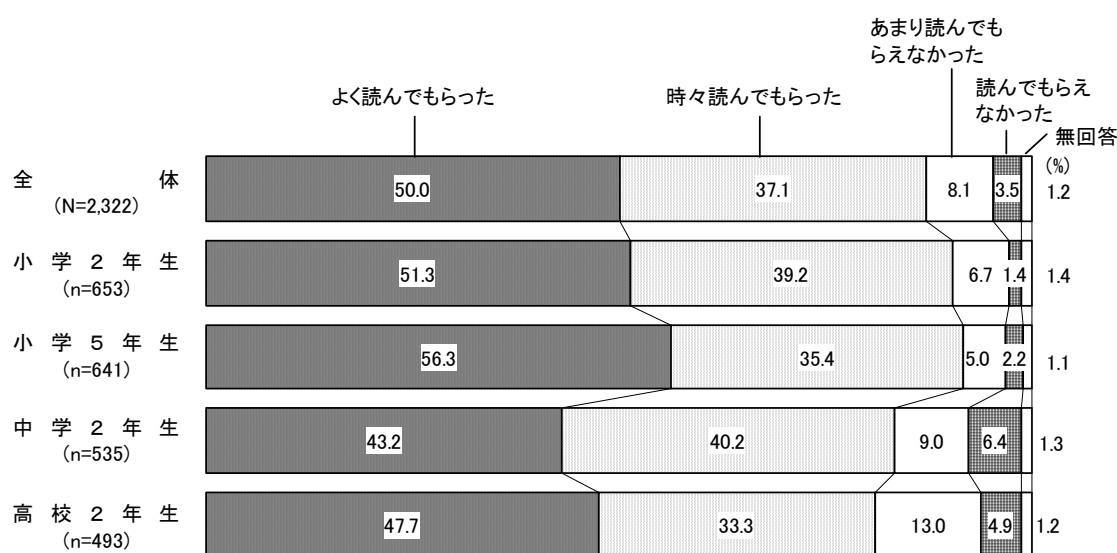
(3) 読み聞かせの状況

①本を読んでもらった経験

<児童・生徒調査（問9）>

小さい頃、本を読んでもらった経験は、「よく読んでもらった（50.0%）」、「時々読んでもらった（37.1%）」をあわせると、9割近くが本を読んでもらった経験があると回答している。

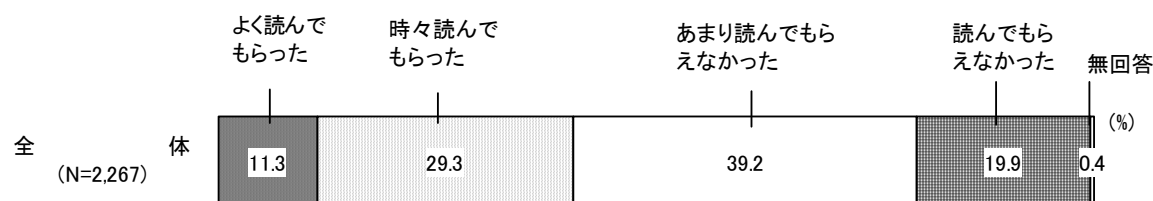
図表3-2-3 本を読んでもらった経験（全体、学年別）



<保護者調査（問19）>

子どもの頃、本を読んでもらった経験では、最も多いのが「あまり読んでもらえなかった（39.2%）」であり、「読んでもらえなかった（19.9%）」とあわせると半数以上がどちらかといえば読んでもらえなかったと回答している。

図表3-2-4 子どもの頃、本を読んでもらった経験（全体）

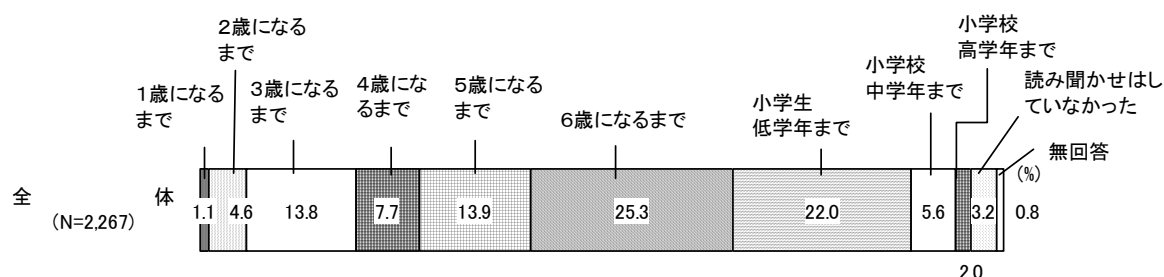


②自分の子どもに本の読み聞かせをしていた時期

<保護者調査（問 20）>

自分の子どもに本の読み聞かせをしていた時期は、「6歳になるまで（25.3%）」と「小学校低学年まで（22.0%）」がそれぞれ2割台である。小学校中学年や高学年まで読み聞かせをしていた回答もあり、読み聞かせの時期の幅が異なっている。

図表 3－2－5 自分の子どもに本の読み聞かせをしていた時期（全体）

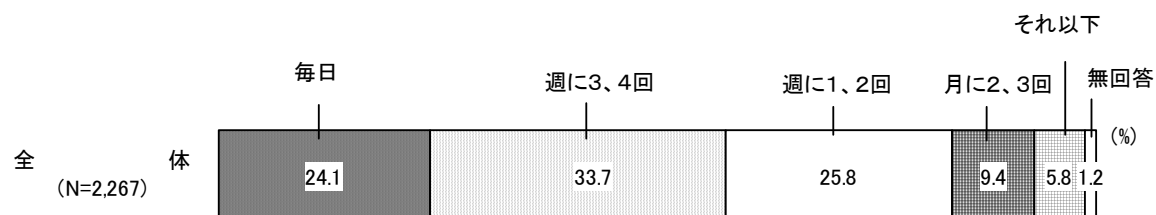


③自分の子どもに本の読み聞かせをしていた頻度

<保護者調査（問 21）>

読み聞かせの頻度については、「週に3、4回（33.7%）」「週に1、2回（25.8%）」「毎日（24.1%）」の順が多い。多くの保護者が毎日か数日おきに読み聞かせをしていたとしている。

図表 3－2－6 自分の子どもに本の読み聞かせをしていた頻度（全体）

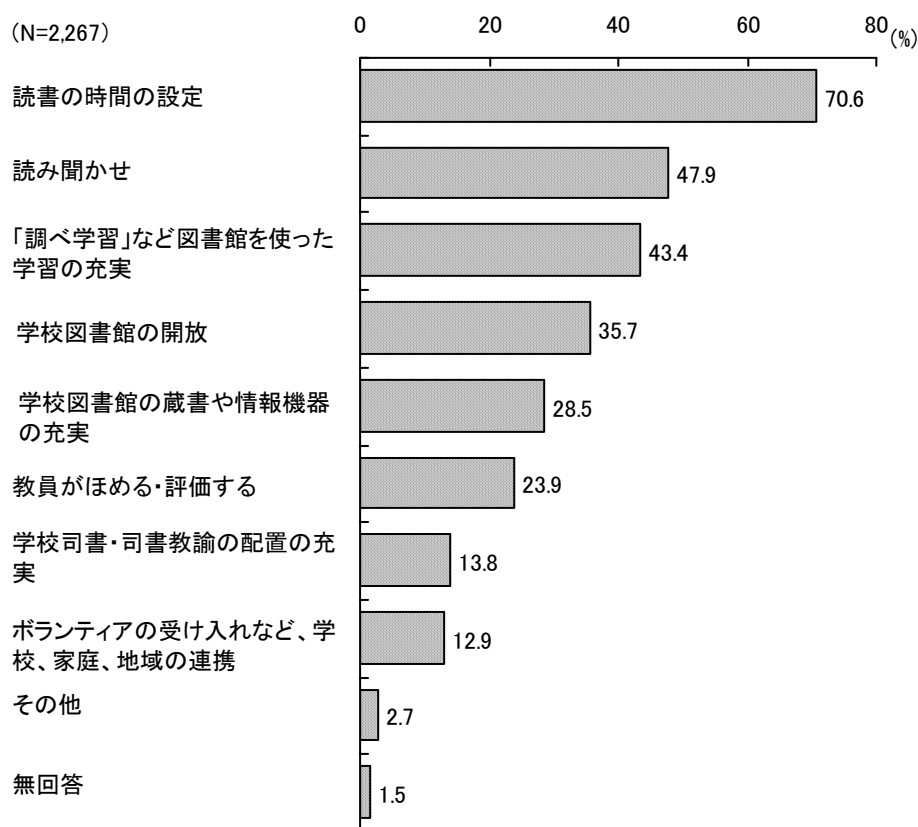


(4) 子どもの読書活動を推進するために必要なこと

①学校での活動＜保護者調査（問 23(1)、複数回答）＞

子どもの読書活動を推進するために《学校での活動》で必要なこととしては、「読書の時間の設定（70.6%）」、「読み聞かせ（47.9%）」、「調べ学習など図書館を使った学習の充実（43.4%）」が上位である。

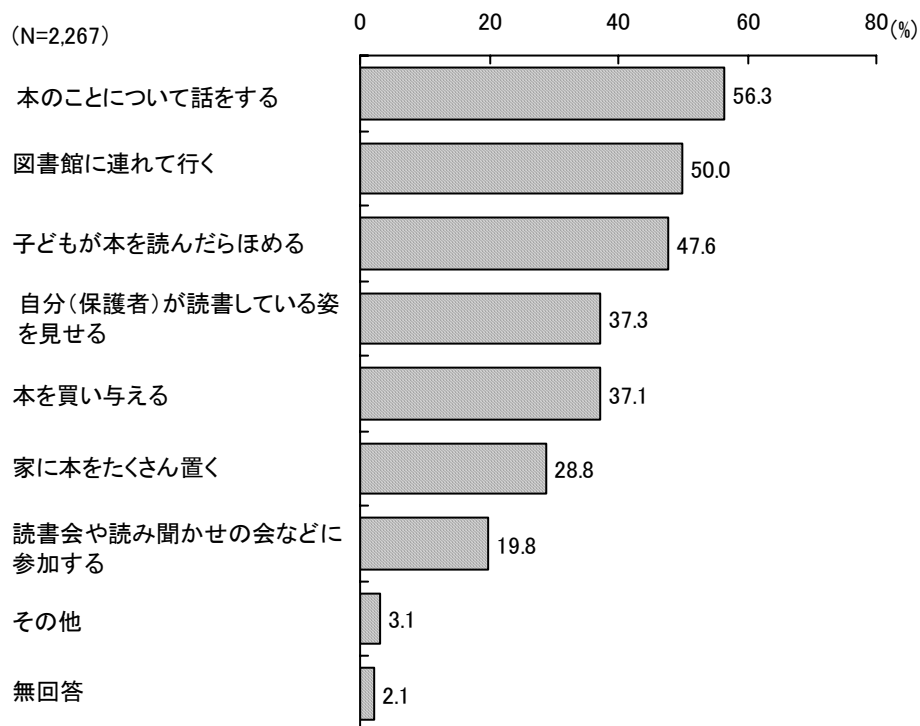
図表 3－2－7 子どもの読書活動を推進するために必要なこと＜学校での活動＞（全体）



②家庭での活動＜保護者調査（問 23（2）、複数回答）＞

《家庭での活動》で必要なことでは、「本のことについて話をする（56.3%）」、「図書館に連れて行く（50.0%）」、「子どもが本を読んだらほめる（47.6%）」などが上位である。

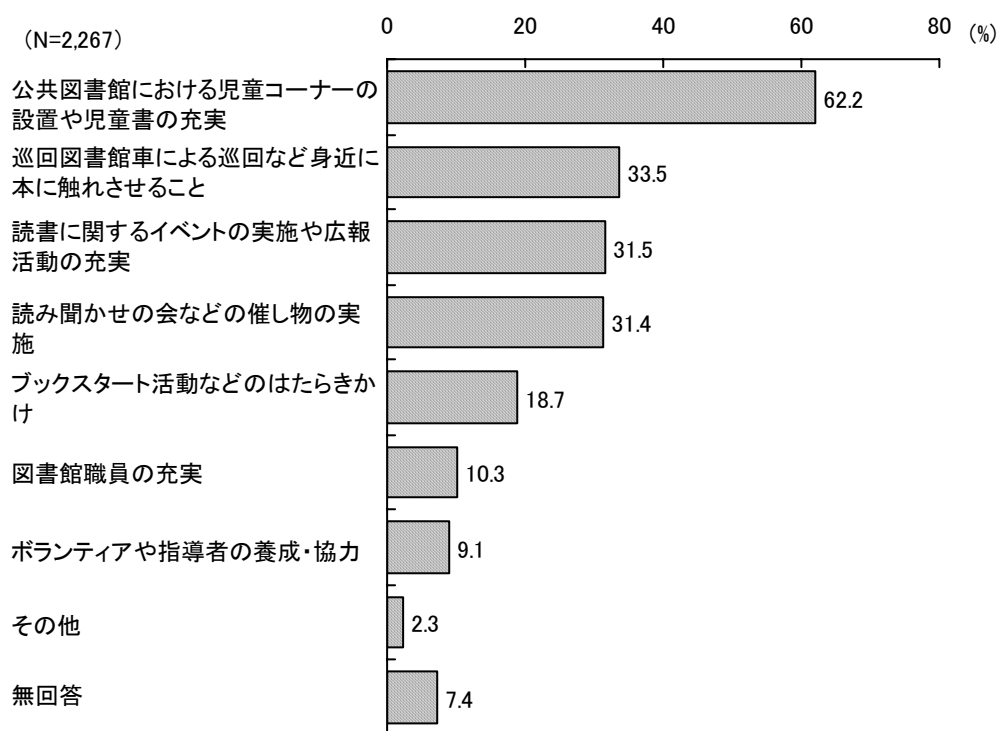
図表 3－2－8 子どもの読書活動を推進するために必要なこと＜家庭での活動＞（全体）



③地域での活動＜保護者調査（問 23（3）、複数回答）＞

《地域での活動》で必要なことでは、「公共図書館における児童コーナーの設置や児童書の充実（62.2%）」が最も多く、「読書に関するイベントの実施や広報活動の充実（31.5%）」が続いている。

図表 3－2－9 子どもの読書活動を推進するために必要なこと＜地域での活動＞（全体）



(5) 自由意見(保護者調査)

保護者調査の自由意見は、全部で 651 件である。その内訳と主な意見は次のとおりである。

テーマ	件数
図書館での読書活動について	73
学校での読書活動について	144
家庭・地域での読書活動について	163
書店について	11
図書館行政について	6
活字離れについて	32
幼児期の読書体験や読み聞かせについて	72
子どもの読書に対する期待	63
その他	68
合計	651

①図書館での読書活動について

◆児童コーナーの充実

- ・ 図書館でのイベントがもっと多いと本も身近に感じるのではないのでしょうか。対象年齢別のおすすめ本コーナーなどがあると図書館でも本が探しやすいと思います。
- ・ 図書館に足を運び、自分の手で選んだ本を読むことで、読書の楽しさを、覚えると思う。児童コーナーの充実を望む。
- ・ 町の図書館で本を借りたり、読み聞かせに行ったりするのが好きな娘です。そこでは、本だけでなく、よくいらっしゃる方々との交流もでき、多くの面で、活動の幅が広がっているようです。

◆蔵書の充実

- ・ 地域によって図書館の充実さにばらつきがあるので、まんべんなく、いろいろな種類の本と出会えるようにしてほしいです。図書館の中に読書スペースを多く配置すると、マナーも身に付くし（静かにするとか）楽しいので利用しやすいのではと思います。
- ・ 図書館でも学校でも子どもの読む本が少ないなあと思います。本屋でおもしろそうだなあと思ってもやはり買ってまではと思うので図書館にも新書をどんどん入れてほしい。
- ・ 図書館にはたくさん本があるけど、読みたい本がないと子どもがいうのはどうしてなのだろうか。
- ・ 幼児（絵本）に対しては活動があったり図書館へ行っても沢山あり充実していることが多いが、児童特に中学年→高学年に対する図書が絵本ほど充実しているとは思えない。図書館も中学年→高学年向けは高いところにあたりして、背が低いうちの子は上の段ははじめから見えない。成長とともに読める本がまとめてあるといいのですが。

- ・ 親の方は、なかなか読み聞かせが出来なくて、反省している一方、子どもの方は、本に触れることが楽しみでよく、本を借りている。町立図書館で読みたい本、新しい本を希望すれば、電話等で連絡下さり、喜んで図書館へ足を運んでいる。

◆図書館への行きやすさ

- ・ 子どもが歩いて又、自転車などで気軽な場所に図書館が無いことが、とても残念です。どうしても親が付き添わないと無理な為、図書館に行くのも限られて来る。
- ・ 地域の図書館が遠いので、ほとんど利用できない。近所では図書館の場所も知らない人が多いので、子どもの足だけでは利用できないのが残念。
- ・ 住まいの近くに図書館があり、そこに行くことが楽しいことであるというのが本好きになるきっかけ、第一歩になりましたので地域に図書館があるという事は大事な事だと思います。

◆図書館の規模

- ・ 近くに図書館がありますが、規模が小さく、職員も専門の司書が一名しかいません。もう少し充実していればと思います。

◆駐車場の充実

- ・ 図書館の駐車場が少なく、行っても駐車場に止められなくて帰ったりする事がよくありました。たくさんの人が使える様にしたらもっと利用できると思います。

◆移動図書館の充実

- ・ 子どもが読む本は子どもに選ばせたいので、巡回図書館の車が、子どもが利用できる時間に、子どもが歩いて行ける場所に来てくれるといいと思う。

②学校での読書活動について

◆学校図書室の充実

- ・ 様々なジャンルの本に触れさせる機会が必要になると思います。専門的な助言も必要になってくるので学校などで担任、司書などから本の選び方・活用の仕方などのヒントを低学年のうちから指導していく必要性を感じます。
- ・ 学校図書館の本がまだまだ生徒数に比べると不足しているように思えるので、充実した本の設置を希望する。
- ・ 市立図書館が遠いので学校の図書室など学校が休みの時はずっと開放してほしい。
- ・ 小学校の司書教諭が、担任をもちながら配置されているのが現状です。専任の先生がいればもっと学校の図書室がさらには子どもの読書活動もより、充実するのに、と思います。

◆読書の時間

- ・ 下の娘が中学校で朝の5分間読書をするようになって読書量が増えたので学校のはたす役割

は大きいと思う。

- ・ 子どもの通う学校では読書活動が非常に盛んなので、子どもは無理なく自然に本に親しんでいます。「今日はこんな本を読んだよ」などという読后感想が家庭内にあたりまえのようにあるのは幸運と思います。学校と言う集団生活の中で家庭ではできない「他人のすすめる本」などを知ることがますます読書への興味を深めていると思います。その経験から、子どもの読書活動の定着は、学校や地域単位の活動を家庭と併行して行われることが望ましいと思います。
- ・ 学校での読書活動で評価する場合、読んだ冊数をグラフにしたりして競わせた事があったが、あれはおかしい。数だけこなせば良いというものではないのだから。
- ・ 夏休みの読書感想文が重荷になり、本を読むのが苦手になる子もいる。

◆調べ学習

- ・ 学校から帰ってくると習い事に行くとそれから宿題をやると読書の時間がとれないので学校で読書の時間を設けてくれるといいし、調べ学習など、学校の図書室や町の図書館を使って学校でやってほしいです
- ・ 小学生のうちは、コンピューターよりも読書の時間をもった方がよい。調べものは、インターネットではなく図書館の書物で調べた方がよい。よい司書を配置する。

③家庭・地域での読書活動について

◆家庭の読書環境の充実

- ・ 何よりもまず親が読んでいる姿を見せないとだめだと思います。
- ・ 一番身近な家庭に本を置き、自然に読書する態度を身に付けさせる事が大事である。
- ・ 親が本好きで子どもたちが小さな頃から図書館通いでした。私の親はそうでもなかったのですがその人の本質的な部分で好き嫌いはあると思います。わが家では幸いにして皆本好きです。環境や子どもへの働きかけがきっかけになると思います。
- ・ 現代社会テレビ、パソコン、ゲームなどが一般家庭にはあり、なかなか読書を優先する事が難しいと思うので、興味をもてるような本をすすめたり、図書館、本屋など、機会を作っていくようにしていきたいです。

◆地域の読書環境の充実

- ・ 小さい子を連れての図書館通いは、結構エネルギーがいる。だから地域の公民館、集会所等の読み聞かせのサポートが充実し、結果、親からの啓蒙が必要で、最も近道なのではと思います。
- ・ どんな本を子どもに読ませたらいいのか、もっとアドバイスなどが、地域の活動などから得る事ができたらよかったと思います。活動がわかりにくく、参加しにくいようにも思います。
- ・ お話しの会ボランティアによる“本たんけんクラブ”に子どもを参加させたところ、いろんなジャンルの本を読む様になりました。子どもから「お母さん、〇〇の本読んでみたら…」と言われる程です。地域の方達の協力は、絶対必要だと思います。

◆本の選び方

- ・ 書店などで何年生向きなどもう少し解りやすく表示してもらいたいです。
- ・ 書店でたまに見ますが簡単な説明やPRが書いてあったり例えば、「泣ける本」とか「こんな気分を味わえる」とか「恋愛中の君に」など、あれば選びやすいかと思います。それから毎月学校の先生などからお勧め本2－3冊を紹介して頂けたりしたらよいかと思います。どんな本を読んだらよいのかわからないのだと思います。かつて自分もそうでした。

⑤図書館行政について

◆図書館行政への期待

- ・ 私は、よく福崎の図書館に行っていましたが、知り合いに加西の市立図書館を紹介してもらい、町の方には入かなくなりました。理由は、本がたくさんある、ほしいものがしらべやすい。人目を気にせずゆっくりと読めるなどです。今度新しくなるので楽しみにしていますが、加西の図書館のようだったらいいなと思っています。
- ・ 公立図書館、学校の図書館が充実しており、書店で購入するより借りて読む事が多いです。ただ、まだ低学年なので、充実しすぎてどんな本、何を読むかすごく迷いながら借りてます。問23の(3)のブックスタートという言葉は初めて聞きますが、こういう活動が、増えるといいと思いました。

◆図書館行政への不満

- ・ 図書館不足の現状を見ると、行政の教育に対する、勉強不足に憤りを感じます。図書館の不足によって、利用しにくさによって本離れが加速していると思います。
- ・ 図書館が民間に委託されるのは反対だ。不安である。

⑥活字離れについて

- ・ PC等の普及により、子ども達の読書離れが気になります。今後も学校で又、地域でもいろいろなイベント等行っていただきたいです。又、家庭内でも大きくなるにつれ、親子で…という事が少なくなりがちなのもっと読書を通してのコミュニケーションができればと思います。
- ・ 今の子ども達は、習い事が多くまた、TVゲーム等により、読書をする時間が少なくなってしまうように思います。豊かな時代となり、なくしてしまうものも多いように思います。

⑦幼児期の読書体験や読み聞かせについて

◆家庭での読み聞かせの効果

- ・ この調査の対象の中2の次男には、小さい時あまり読み聞かせをしなかったのですが、長男には毎日していました。あとになるとその差が歴然と現れました。読み聞かせは大切だと通感しました。
- ・ 小さい頃の読み聞かせは、とても大切だと思います。字が読めるようになると、すすんで自分

でも読むようになっていく様です。本を読む事を嫌がらないのは、読み聞かせをしていたからだと思っています。

- ・ 読書は習慣だと思います。その習慣をつけてあげるのが大切だと思います。特に低学年では。読むものは、マンガでも、事典でも参考書でも、教科書でも！文字を読むことに興味を持たせることが大切では。本の種類や内容は、自然に決まっていくのではないかと思います。

◆地域での読み聞かせ等の活動

- ・ 市川市、浦安市など、幼稚園、学校の中でお母さん達がボランティアで、絵本を読み聞かせてくれている事が素敵だと思いました。
- ・ 幼児期における読書習慣の大切さを保育園、幼稚園などへの働きかけで呼びかけてほしいと思います。この時期の影響は、小中高校へとつながると考えます。小学校では遅いというのが私の考えです。

⑧子どもの読書に対する期待

- ・ 本が好きで毎日のように読んでいます。困るくらいです。
- ・ 子どもたちは今「ゲーム」の世界にあまりにも多くさらされていると思います。物語という点では本と似ているかもしれませんが、読書とはことなります。もういちど読書のたのしみを子どもたちに味あわせてあげたい。読書をとおして世界のひろがりや心のひろがり、そういうものを体験してほしいのです。
- ・ 子どもが読書をしている姿は、とてもいいと思います。難しい本を読まなくても、自分の興味のある内容の本を、楽しんで読んでいけばと思います。

⑨その他

- ・ 読書によって自分の気持ち等がはっきり言えるようになり、表現力がゆたかになった。
- ・ テレビやテレビゲーム等の影響で、読書をするという機会が少なくなった今、子どもに読書をする機会をどうしたら増やせるか、社会全体の課題の様に思います。

3 保護者の読書活動が子どもの読書活動へ及ぼす影響

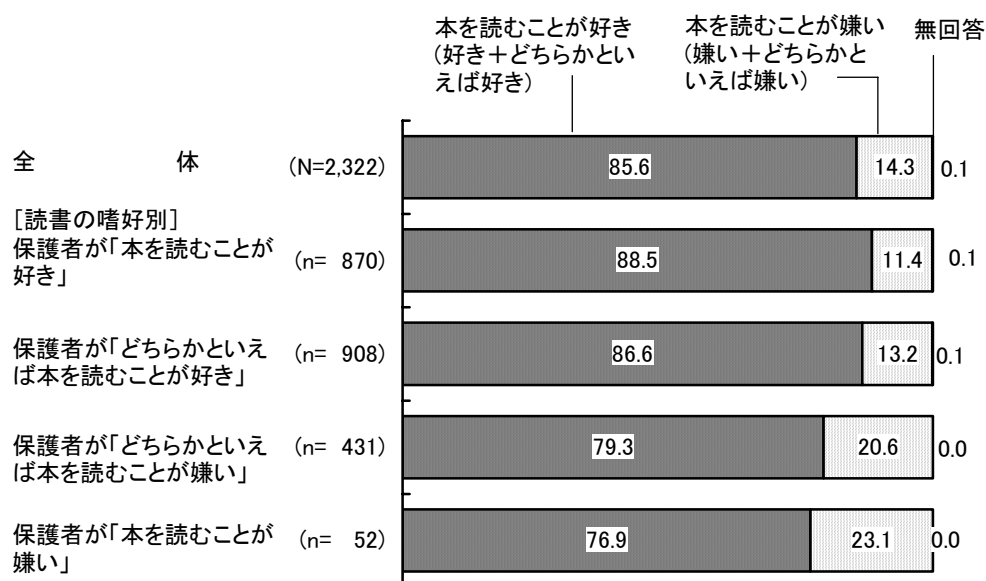
(1) 本を読むことについて（児童・生徒調査：問3）

分析軸① 保護者調査：問3（本を読むことについて）

保護者が読書が好きか嫌いに関わらず、児童・生徒の85.6%が本を読むことが「好き」「どちらかといえば好き」と回答している。

保護者の読書好きの程度が高くなるにつれ、児童・生徒も読書が好きという回答が多くなっている。

図表3-3-1 本を読むことについて（全体、保護者の読書嗜好別）

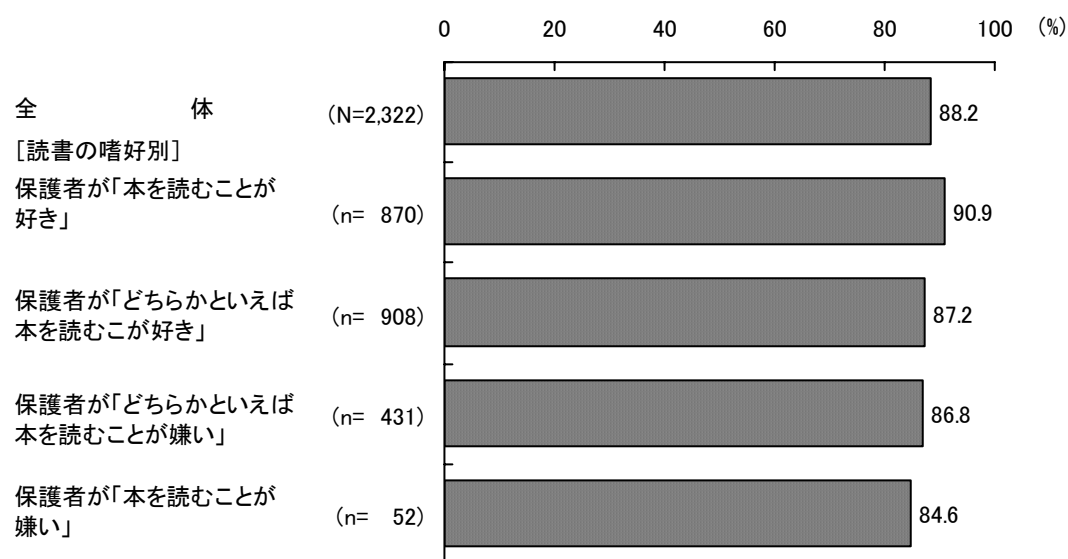


(2) 1 か月の間に読んだ本の数（児童・生徒調査：問6）

分析軸② 保護者調査：問3（本を読むことについて）

児童・生徒が一か月に読んだ本の数は、児童・生徒の 88.2%が 1 冊以上と回答している。
児童・生徒が 1 冊以上本を読んでいる割合は、保護者の読書好きの程度が高くなるにつれ、
高くなる傾向がある。

図表 3－3－2 一か月の間に 1 冊以上本を読んだ児童・生徒の割合（全体、保護者の読書嗜好別）



4 保護者の支援が子どもの読書活動へ及ぼす影響

(1) 本を読むことについて（児童・生徒調査：問3）

分析軸③ 保護者調査：問22（子どもの読書活動を推進するための実施項目）

子どもの読書活動を推進するための実施項目のそれぞれについて、実施している場合と実施していない場合を比較してみると、「家に本をたくさん置く」、「図書館に連れて行く」の2項目で、本を読むことが好きと回答した児童・生徒の割合が5ポイント以上高くなっている。

図表3-4-1 本を読むことが好きと回答した児童・生徒の割合（読書活動推進項目の実施状況別）

子どもの読書活動を推進するための実施項目	好き(好き+どちらかといえば好き)の割合(%)		実施している場合と実施していない場合の差
家に本をたくさん置く	実施している (n=930)	89.9	5.9
	実施していない (n=1392)	84.0	
図書館に連れて行く	実施している (n=1015)	88.5	5.0
	実施していない (n=1307)	83.5	
本のことについて話をする	実施している (n=626)	87.7	3.8
	実施していない (n=1696)	83.9	
読書会や読み聞かせの会などに参加する	実施している (n=585)	88.8	3.5
	実施していない (n=1737)	85.3	
自分(保護者)が読書している姿を見せる	実施している (n=966)	88.0	3.2
	実施していない (n=1356)	84.8	
子どもが本を読んだらほめる	実施している (n=250)	85.9	0.4
	実施していない (n=2072)	85.5	
本を買い与える	実施している (n=1081)	85.8	0.3
	実施していない (n=1241)	85.5	

(2) 一か月に読んだ本の数(児童・生徒調査：問6)

分析軸① 保護者調査：問20(読み聞かせをしていた時期)

保護者が読み聞かせをしていた時期と、児童・生徒が1ヶ月の間に読んだ本の数の関係を見ると、読み聞かせをしている期間の長い児童・生徒の方が一か月の間に読んだ本の冊数が多くなるという傾向が見られる。

図表3-4-2 児童・生徒が一か月の間に読んだ本の冊数(全体、読み聞かせをしていた時期別)

		一か月の間に読んだ本の数(児童・生徒調査)								
		0冊	1冊	2冊	3冊	4冊 ～ 6冊	7冊 ～ 9冊	10冊 ～ 20冊	21冊 以上	無 回 答
子どもに本を読み聞かせしていた時期(保護者調査)	全 体 (N=2322)	11.4	14.6	15.6	11.5	17.4	9.9	10.9	8.3	0.5
	読み聞かせはしていなかった(n=73)	16.4	15.1	8.2	12.3	15.1	9.6	11.0	11.0	1.4
	1歳になるまで(n=24)	16.7	16.7	12.5	12.5	4.2	12.5	16.7	8.3	-
	2歳になるまで(n=104)	10.6	14.4	13.5	9.6	17.3	9.6	11.5	11.5	1.9
	3歳になるまで(n=313)	10.2	16.9	19.5	13.4	17.6	9.9	8.3	4.2	-
	4歳になるまで(n=175)	10.3	17.7	20.0	7.4	14.9	12.0	8.0	8.6	1.1
	5歳になるまで(n=315)	12.4	12.7	19.0	10.2	18.7	10.8	8.6	7.6	-
	6歳になるまで(n=572)	12.1	14.2	16.4	11.7	17.8	8.9	10.7	8.0	0.2
	小学校低学年まで(n=499)	8.6	15.4	11.0	11.6	17.2	10.4	14.6	10.6	0.4
	小学校中学年まで(n=126)	11.9	8.7	11.1	11.9	19.8	11.9	12.7	11.1	0.8
	小学校高学年まで(n=46)	10.9	6.5	13.0	15.2	19.6	13.0	13.0	8.7	-

14.0%以上 15.0%未満

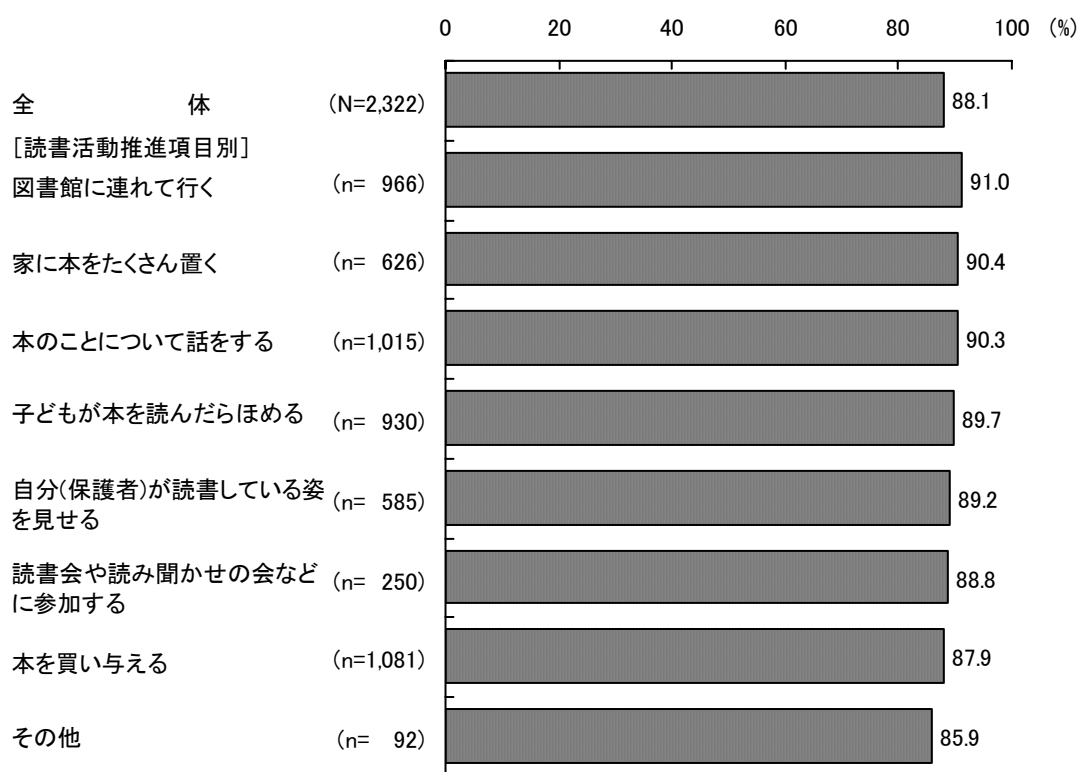
15.0%以上 17.0%未満

17.0%以上

分析軸② 保護者調査：問 22（子どもの読書活動を推進するための実施項目）

子どもの読書活動を推進するための実施項目と児童・生徒の読書量との関係を見ると、いずれの項目も児童・生徒が1冊以上読んでいる割合が8割を超えている。「図書館に連れて行く」「家に本をたくさん置く」「本のことについて話をする」の3項目では、児童・生徒が1冊以上読んでいる割合が9割を超えている。

図表3-4-3 一か月の間に1冊以上本を読んでいる児童・生徒の割合
(全体・読書活動推進項目別)



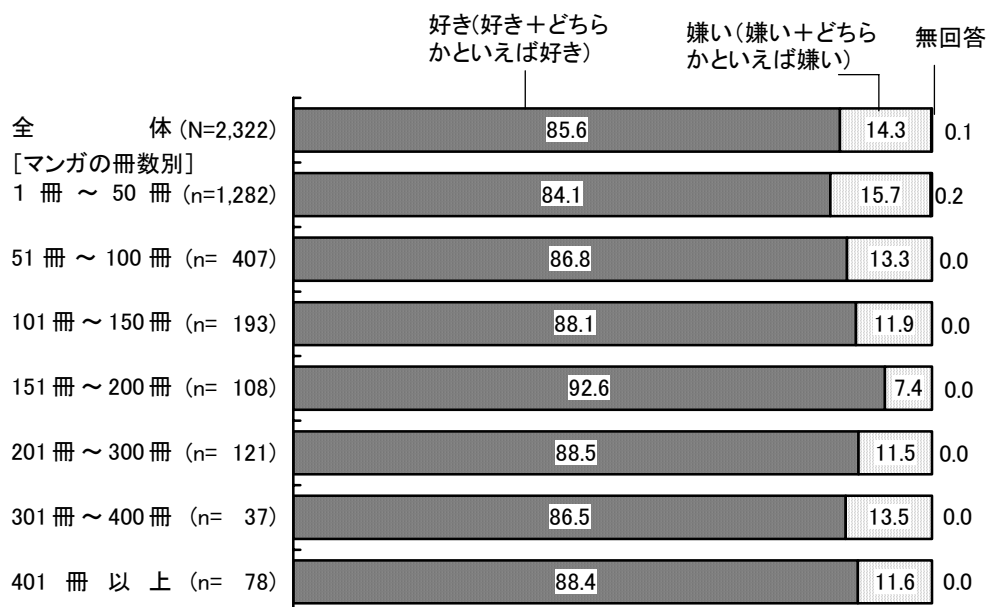
5 マンガと読書の関係

(1) 本を読むことについて（児童・生徒調査：問3）

分析軸② 保護者調査：問9（所有しているマンガの冊数）

マンガを151冊～200冊所有している児童・生徒は、「本を読むことが好き（92.6%）」が9割を超えている。

図表3-5-1 本を読むことについて（全体、所有しているマンガの冊数別）

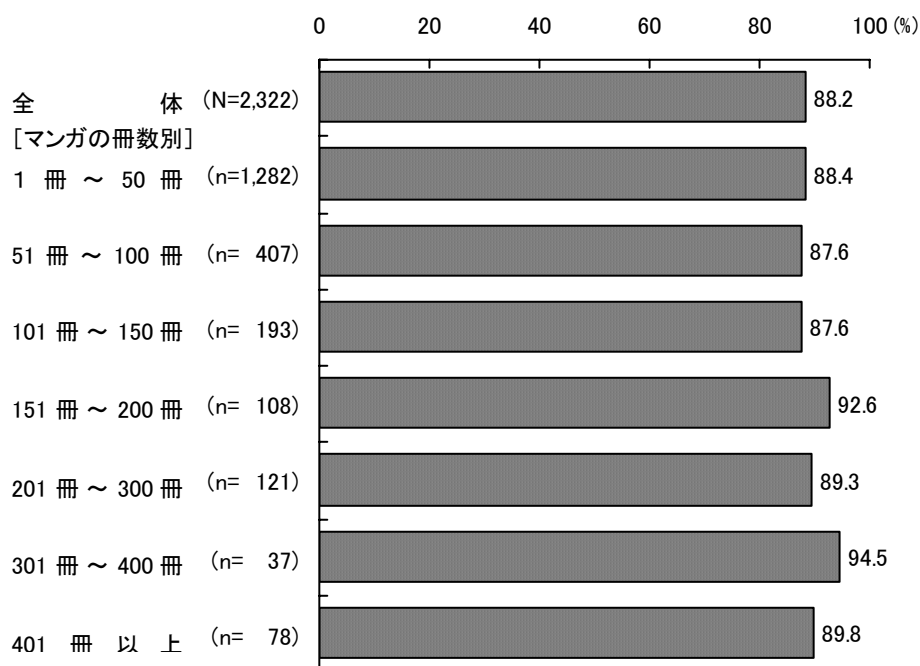


(2) 一か月に読んだ本の数(児童・生徒調査：問6)

分析軸② 保護者調査：問9(所有しているマンガの冊数)

マンガを150冊以上所有している児童・生徒は、150冊以下の児童・生徒と比べて、1か月の間に1冊以上の本を読んでいる割合が高い。

図表3-5-2 児童・生徒が一か月の間に読んだ本の数(全体、所有しているマンガの冊数別)



6 地域の環境と読書の関係

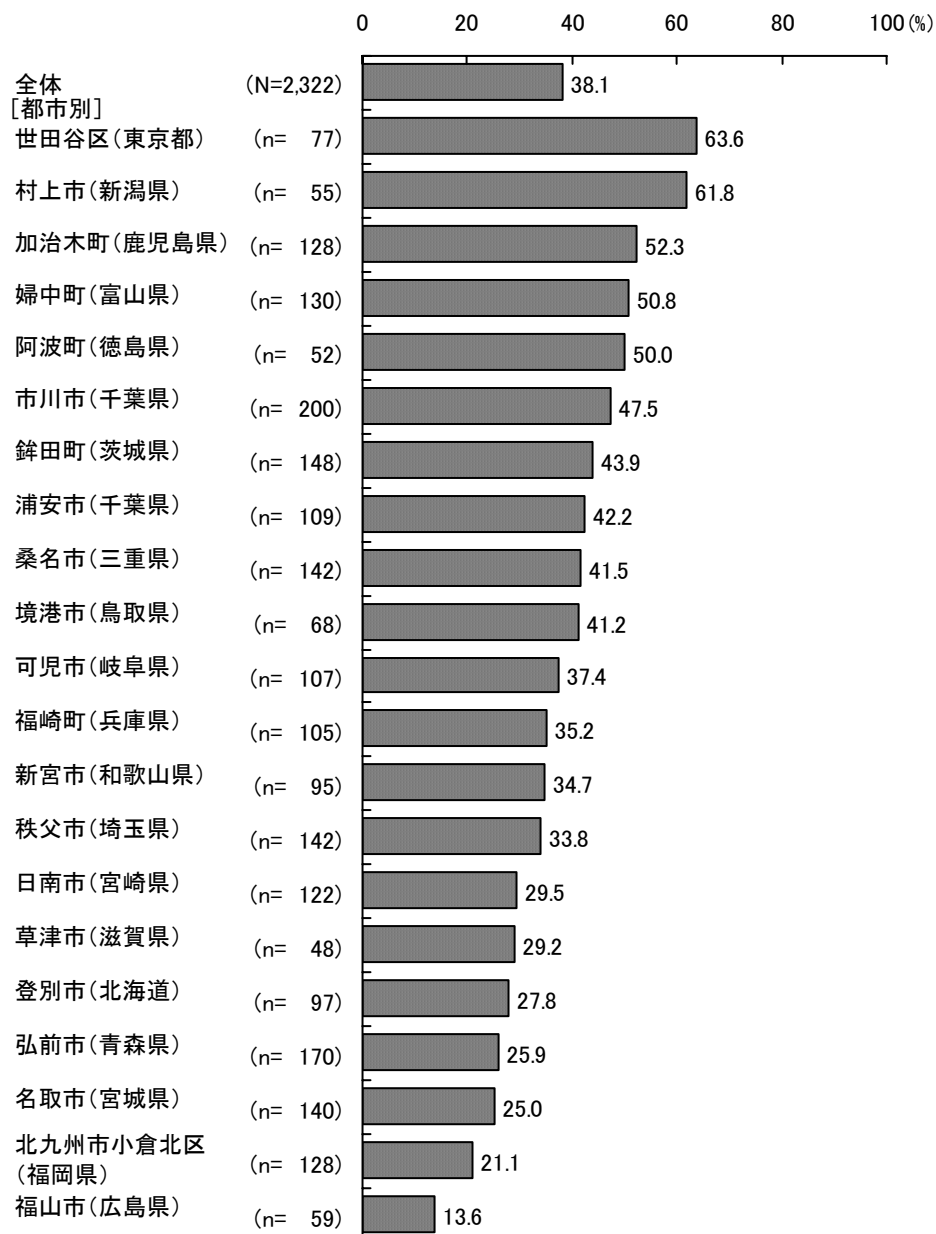
(1) 一か月の間に地域の図書館へ行った回数（保護者調査、児童・生徒調査）

<児童・生徒調査（問10）>

平成17年2月の一か月間に1回以上、地域の図書館へ行った児童・生徒の割合は、世田谷区、村上市、加治木町、婦中町、阿波町で全体を10ポイント以上、上回っている。

参考：世田谷区は図書館設置密度が高い。村上市、阿波町は登録率、蔵書密度、貸出密度が高い。加治木町、婦中町は全蔵書に占める児童書の割合が高い。

図表3-6-1 一か月の間に地域の図書館へ1回以上行った児童・生徒の割合（全体、都市別）

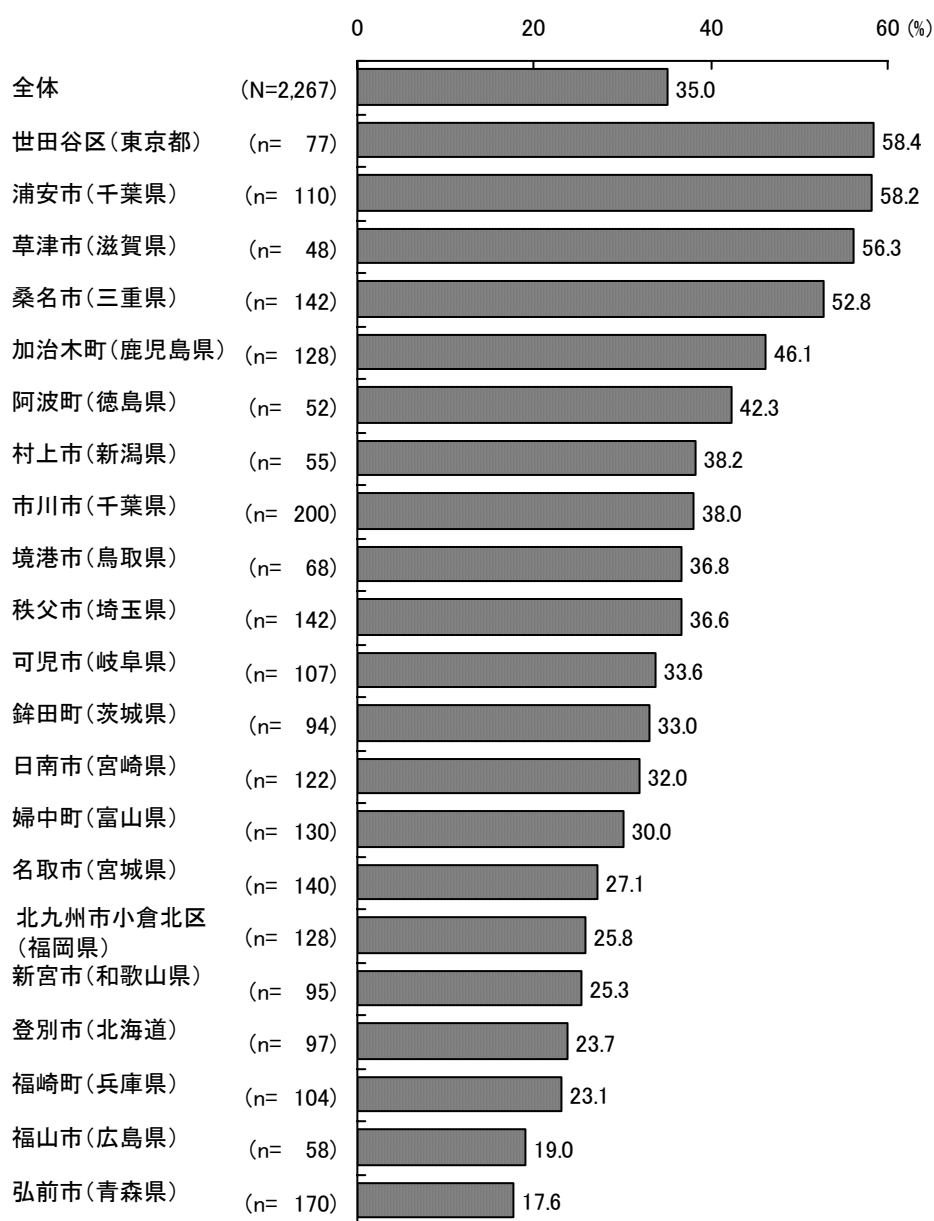


<保護者調査（問10）>

平成17年2月の一か月間に1回以上、地域の図書館へ行った保護者の割合は、世田谷区、浦安市、草津市、桑名市、加治木町で全体を10ポイント以上、上回っている。

参考：世田谷区、浦安市は図書館設置密度が高い。草津市は、登録率および貸出密度が高い。
桑名市は平成16年10月に新中央図書館が開館したため、その影響があると考えられる。加治木町は全蔵書に占める児童書の割合が高い。

図表3-6-2 1ヶ月に地域の図書館へ行った回数（全体、都市別）



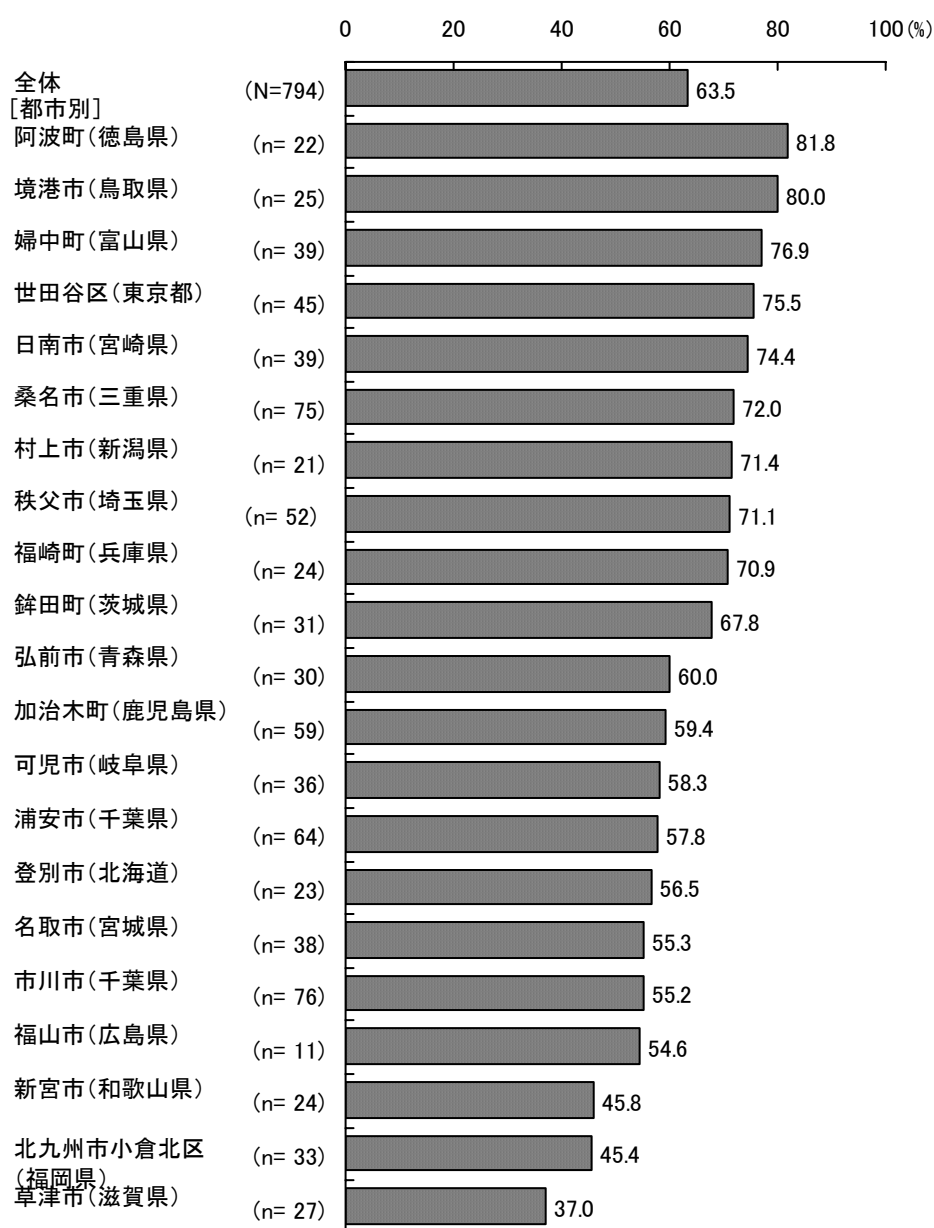
(2) 子どもと一緒に図書館に行った回数

<保護者調査(問)>

平成 17 年 2 月の一か月間に、子どもと一緒に地域の図書館に 1 回以上行っている保護者の割合は、阿波町、境港市、婦中町、世田谷区、日南市で平均を 10 ポイント以上、上回っている。

参考：阿波町、境港市は設置密度が 20～30k m²/館である。婦中町、日南市は全蔵書に占める児童書の割合が高い。世田谷区は図書館設置密度が高い。

図表 3-6-3 一か月の間に子どもと一緒に図書館に 1 回以上行った人の割合（全体、都市別）



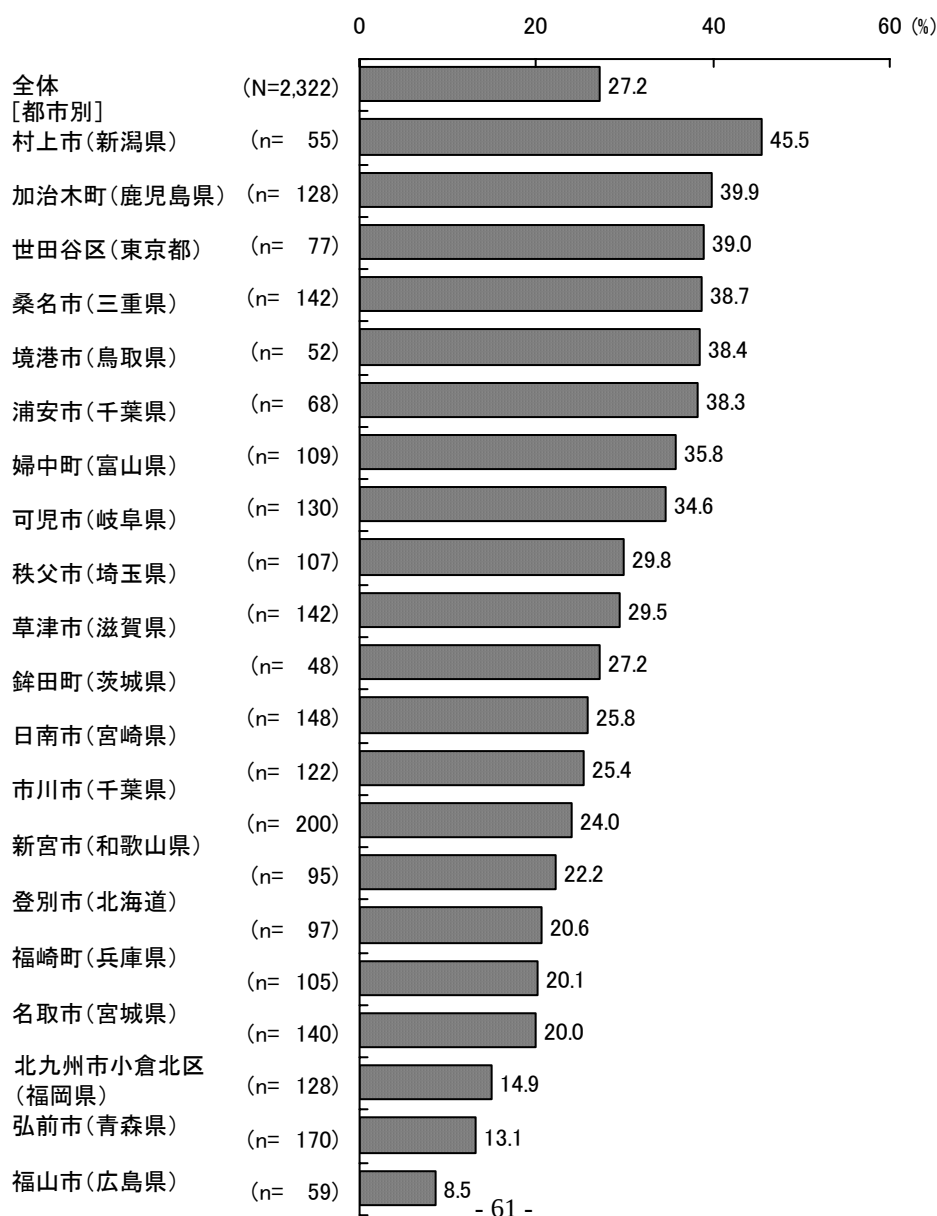
(3) 一か月の間に読んだ本の数

< 児童・生徒調査 (問) >

平成 17 年 2 月の一か月間に児童・生徒が読んだ本のうち、地域の図書館から借りた本が 1 冊以上含まれている割合は、村上市、加治木町、世田谷区、桑名市、阿波町、境港市で全体を 10 ポイント以上、上回っている。

参考：村上市は、蔵書密度、登録率が高い。加治木町は全蔵書に占める児童書の割合が高い。
世田谷区は図書館設置密度が高い。桑名市は平成 16 年 10 月に新中央図書館が開館したため、その影響があると考えられる。阿波町、境港市は設置密度が $20 \sim 30k \text{ m}^2/\text{館}$ である。

図表 3-6-4 一か月の間に読んだ本のうち、地域の図書館から借りた本が 1 冊以上含まれている
児童・生徒の割合（全体、都市別）

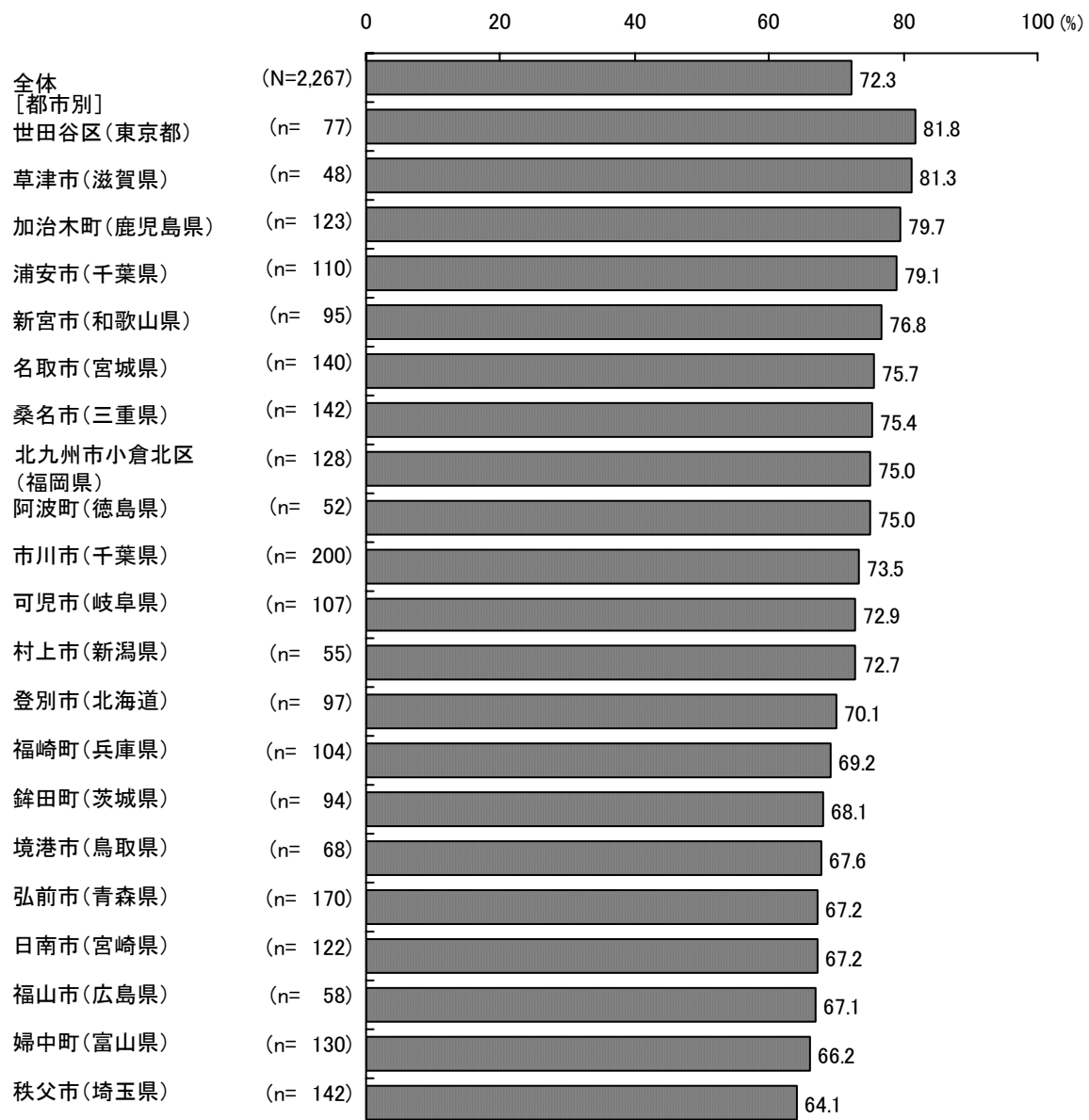


<保護者調査（問6）>

平成17年2月の一か月間に1冊以上本を読んだ保護者の割合は、世田谷区、草津市、加治木町、浦安市で5ポイント以上、上回っている。

参考：世田谷区、草津市、浦安市は図書館設置密度が高い。加治木町は全蔵書に占める児童書の割合が高い。

図表3-6-5 一か月の間に地域の図書館から1冊以上本を借りた保護者の割合（全体、都市別）



第4章 文献調査の結果

1 公共図書館の状況

ここでは、今回実施したアンケート調査の対象校を抽出した21都市の公共図書館の活動状況について、「日本の図書館2004」のデータをもとに分析する。

図表4-1-1 アンケート調査の対象校を抽出した都市の図書館数

ブロック名	都市名	面積	人口	図書館数	BM、SP
北海道	登別市（北海道）	212.11 km ²	55千人	1	BM1、SP4
東北	弘前市（青森県）	273.81 km ²	175千人	1	BM1
	名取市（宮城県）	100.06 km ²	68千人	1	BM1、SP10
関東	市川市（千葉県）	56.39 km ²	450千人	5	BM1、SP12
	浦安市（千葉県）	16.98 km ²	140千人	7	BM1、SP1
	銚田町（茨城県）	106.47 km ²	29.2千人	1	—
	世田谷区（東京都）	58.08 km ²	794千人	15	SP8
	秩父市（埼玉県）	577.69 km ²	59千人	1	SP7
信越	村上市（新潟県）	142.12 km ²	32千人	1	BM2
北陸	婦中町（富山県）	68.04 km ²	35.3千人	1	—
東海	可児市（岐阜県）	84.99 km ²	92千人	3	BM1
	桑名市（三重県）	136.61 km ²	109千人	1	—
近畿	福崎町（兵庫県）	45.82 km ²	20.0千人	—	—
	新宮市（和歌山県）	79.66 km ²	33千人	1	BM1
	草津市（滋賀県）	48.22 km ²	112千人	2	BM1、SP1
中国	境港市（鳥取県）	28.75 km ²	38千人	1	—
	福山市（広島県）	461.23 km ²	408千人	4	BM1、SP1
四国	阿波町（徳島県）	48.58 km ²	14千人	1	BM1、SP1
九州・沖縄	北九州市小倉北区（福岡県）	39.27 km ²	24千人	1	—
	加治木町（鹿児島県）	47.5 km ²	22.9千人	1	—
	日南市（宮崎県）	294.46 km ²	46千人	1	SP7

※兵庫県福崎町には図書館はないが、中央公民館に図書室が設置されている（平成17年3月31日閉鎖）。

※新潟県村上市には村上市および岩船郡の住民が利用できる岩船広域図書館が設置されている。

※BM＝自動車図書館（Book Mobile）の略

※SP＝サービスポイント（図書館以外の場所で図書館の本を借りたり返却できる場所）の略

資料：「日本の図書館2004」

(1) 図書館の設置密度 (奉仕対象面積÷図書館数)

図書館設置密度は、図書館1館あたりのサービス圏域を測る指標である。図書館設置密度が小さいほど、図書館にアクセスしやすいということを表している。ただし、自動車での移動が多い地域や自動車図書館の活動が活発な地域などでは、図書館設置密度が大きいからといって、必ずしも住民が図書館の本にアクセスしにくいとはいえない面もある。

サービスポイントを含めた図書館設置密度が最も小さいのは、浦安市(2.1k m²)で、世田谷区(2.5k m²)、市川市(3.3k m²)などが続いている。

図表4-1-2 図書館設置密度

都市名	図書館数	自動車図書館数	サービスポイント数	図書館数+サービスポイント数	奉仕対象面積(km ²)	設置密度(サービスポイント含む)(km ²)	順位
浦安市(千葉県)	7	1	1	8	16.98	2.1	1
世田谷区(東京都)	15	0	8	23	58.08	2.5	2
市川市(千葉県)	5	1	12	17	56.39	3.3	3
名取市(宮城県)	1	1	10	11	100.06	9.1	4
草津市(滋賀県)	2	1	1	3	48.22	16.1	5
阿波町(徳島県)	1	1	1	2	48.58	24.3	6
可児市(岐阜県)	3	1	0	3	84.99	28.3	7
境港市(鳥取県)	1	0	0	1	28.75	28.8	8
日南市(宮崎県)	1	0	7	8	294.46	36.8	9
北九州市小倉北区(福岡県)	1	0	0	1	39.27	39.3	10
登別市(北海道)	1	1	4	5	212.11	42.4	11
加治木町(鹿児島県)	1	0	0	1	47.5	47.5	12
婦中町(富山県)	1	0	0	1	68.04	68.0	13
秩父市(埼玉県)	1	0	7	8	577.69	72.2	14
新宮市(和歌山県)	1	1	0	1	79.66	79.7	15
福山市(広島県)	4	1	1	5	461.23	92.2	16
銚田町(茨城県)	1	0	0	1	106.47	106.5	17
桑名市(三重県)	1	0	0	1	136.61	136.6	18
村上市(新潟県)	1	2	0	1	142.12	142.1	19
弘前市(青森県)	1	1	0	1	273.81	273.8	20
福崎町(兵庫県)	0	0	0	0	45.82	—	—

資料：「日本の図書館2004」

(2) 蔵書密度（蔵書冊数÷奉仕対象人口）

蔵書密度は、住民ひとりあたりの蔵書冊数を測る指標である。

蔵書密度が最も大きいのは浦安市（7.0冊）である。次いで阿波町（5.6冊）、可児市（5.4冊）などと続き、平均は3.1冊である。

図表4-1-3 蔵書密度

都市名	人口 (千人)	蔵書冊数 (千冊)	蔵書密度 (冊)	順位
浦安市(千葉県)	140	984	7.0	1
阿波町(徳島県)	14	78	5.6	2
可児市(岐阜県)	92	493	5.4	3
村上市(新潟県)	32	128	4.0	4
秩父市(埼玉県)	59	226	3.8	5
草津市(滋賀県)	112	405	3.6	6
境港市(鳥取県)	38	124	3.3	7
市川市(千葉県)	450	1238	2.8	8
新宮市(和歌山県)	33	88	2.7	9
登別市(北海道)	55	146	2.7	10
名取市(宮城県)	68	179	2.6	11
弘前市(青森県)	175	452	2.6	12
世田谷区(東京都)	794	2010	2.5	13
北九州市小倉北区(福岡県)	180	420	2.3	14
加治木町(鹿児島県)	22.9	51	2.2	15
婦中町(富山県)	35.3	74	2.1	16
日南市(宮崎県)	46	90	2.0	17
鉾田町(茨城県)	29.2	52	1.8	18
福山市(広島県)	408	636	1.6	19
桑名市(三重県)	109	128	1.2	20
福崎町(兵庫県)	20	—	—	—
平均(福崎町除く)			3.1	

資料：「日本の図書館2004」

(3) 登録率（登録者数÷奉仕対象人口）

登録率は、住民の何％が図書館の館外貸出登録をしているかを測る指標で、図書館のサービスがどの程度住民に浸透しているかを知ることができる。

対象とした都市の中で、阿波町と北九州市の登録率が突出している。北九州市については、在勤・在学者の登録率が在住者の登録率を上回っているためと見られる。また、阿波町については北九州市と同様の理由か、もしくは登録者の整理が進んでいないことも考えられる。

図表 4－1－4 登録率

都市名	人口 (千人)	登録者数 (千人)	登録率 (%)	順位
阿波町（徳島県）	14	19.7	140.7	1
北九州市小倉北区（福岡県）	180	182.4	101.3	2
草津市（滋賀県）	112	93.9	83.8	3
村上市（新潟県）	32	22.2	69.4	4
秩父市（埼玉県）	59	32.3	54.7	5
桑名市（三重県）	109	52.8	48.4	6
弘前市（青森県）	175	74	42.3	7
可児市（岐阜県）	92	38.3	41.6	8
世田谷区（東京都）	794	328.6	41.4	9
市川市（千葉県）	450	127.9	28.4	10
婦中町（富山県）	35.3	9.5	26.9	11
福山市（広島県）	408	103.1	25.3	12
日南市（宮崎県）	46	9.4	20.4	13
名取市（宮城県）	68	12.3	18.1	14
登別市（北海道）	55	9	16.4	15
新宮市（和歌山県）	33	3.5	10.6	16
鉾田町（茨城県）	29.2	2.8	9.6	17
加治木町（鹿児島県）	22.9	2	8.7	18
境港市（鳥取県）	38	2.9	7.6	19
浦安市（千葉県）	140	—	—	—
福崎町（兵庫県）	20.0	—	—	—

※浦安市は「日本の図書館 2004」に登録者数のデータが掲載されておらず、登録率が算出できなかったため「—」と表示している。

資料：「日本の図書館 2004」

(4) 貸出密度（貸出冊数÷奉仕対象人口）

貸出密度は、住民ひとりあたりの年間貸出冊数を測る指標で、貸出密度が高いほど、住民に活発に利用されていることを示している。

北九州市小倉北区（14.8 冊）の貸出密度が高いのは、在住・在勤者も含めて登録者数が多いことも要因のひとつと考えられる。それ以外の都市では、浦安市（12.7 冊）、草津市（12.3 冊）、可児市（10.4 冊）などの貸出密度が高い。

図書館を設置していない福崎町を除く 20 都市の貸出密度の平均は、5.7 冊である。

図表 4－1－5 貸出密度

都市名		貸出冊数 (千点)	奉仕対象 人口	貸出密度	順位
貸出密度 平均より 高い	北九州市小倉北区（福岡県）	2,659	180	14.8	1
	浦安市（千葉県）	1,776	140	12.7	2
	草津市（滋賀県）	1,374	112	12.3	3
	可児市（岐阜県）	960	92	10.4	4
	阿波町（徳島県）	114	14	8.1	5
	世田谷区（東京都）	6,463	794	8.1	6
	市川市（千葉県）	2,873	450	6.4	7
貸出密度 平均より 低い	村上市（新潟県）	177	32	5.5	8
	福山市（広島県）	2,256	408	5.5	9
	登別市（北海道）	237	55	4.3	10
	婦中町（富山県）	131	35.3	3.7	11
	秩父市（埼玉県）	190	59	3.2	12
	名取市（宮城県）	214	68	3.1	13
	日南市（宮崎県）	131	46	2.8	14
	加治木町（鹿児島県）	64	22.9	2.8	15
	新宮市（和歌山県）	92	33	2.8	16
	桑名市（三重県）	248	109	2.3	17
	弘前市（青森県）	395	175	2.3	18
	鉾田町（茨城県）	56	29.2	1.9	19
	境港市（鳥取県）	69	38	1.8	20
	福崎町（兵庫県）	—	20	—	—
平均（福崎町除く）				5.7	

資料：「日本の図書館 2004」

(5) 児童サービスおよびヤングアダルトサービスの実施状況

各都市における児童サービスおよびヤングアダルト（中高生）サービスの状況は、以下のとおりである。

21 都市中 18 都市の図書館が児童室を設置している。そのうち、5 都市では児童用のカウンターを設置している。職員数は、1 館あたりおよそ 2～3 名程度である。

全蔵書に占める児童書の割合は、21 都市の平均は 24.8%であるが、銚田町、婦中町、加治木町では、児童書が占める割合が 30%を超えている。

中高生を対象としたヤングアダルト（YA）サービスについては、21 都市中 13 都市で実施されている。児童サービスに比べると、ヤングアダルトサービスを実施している図書館は少ない。市川市、世田谷区では 1 館あたり 3 名程度の職員が配置され、児童サービスと同時にヤングアダルトサービスにも力を入れていることがうかがえる。

図表 4－1－6 児童サービスおよびヤングアダルトサービスの実施状況

都市名	図書館数	児童室の設置館数	児童カウンターの設置館数	児童サービス職員数(人)	児童書の冊数(千冊)	うち絵本・紙芝居(冊)	受け入れ冊数(冊)	蔵書冊数(千冊)	蔵書冊数に占める児童書の割合(%)	登録児童数(千人)	児童サービス貸出冊数(千冊)	児童サービス実施館数	YAコーナーの設置館数	YAサービス職員数(人)
登別市	1	1	1	2	34.1	12,073	1,890	126	27.1	1.8	78.7	1		
弘前市	1	1		2	72.9	18,696	3,650	431	16.9	—	107.5			
名取市	1				37.5	14,031	1,884	154	24.4	0.7	68.5			
市川市	5	3	2	18	169.3	67,450	6,232	1,045	16.2	10	577.3	4	4	12
浦安市	7	1	1	15	201	86,455	8,708	984	20.4	—	387.9			
銚田町	1	1		1	15.7	131	238	52	30.2	0.7	21.5			
世田谷区	15	15		50	417.7	86,573	25,574	1,836	22.8	42.4	1,236.6	14	6	45
秩父市	1	1		1	43.7	10,947	2,658	210	20.8	0.4	72.3			
村上市	1	1			29.6	11,856	1,200	125	23.7	0.4	45.8			
婦中町	1	1		1	23.1	6,491	1,404	74	31.2	2.1	48.2	1		1
可児市	3	3		0	62.6	25,382	3,105	245	25.6	6.1	111.1	3	1	0
桑名市	1	1			27.1	8,386	1,418	128	21.2	—	75.8	1	1	
福崎町	0													
新宮市	1				18.7	7,938	1,333	81	23.1	1.1	23.4	1		
草津市	2	2		6	98.6	42,548	6,248	405	24.3	1.1	244.4			2
境港市	1	1		1	28.1	5,788	1,669	124	22.7	1.1	—	1		1
福山市	4	4	3	7	130.7	29,905	10,494	569	23.0	22.7	491.1	4	4	2
阿波町	1	1		1				78				1	1	
北九州市小倉北区	2	1	0	1	39.4	0	2,883	464	8.5	4	65.3	1	1	0
加治木町	1	1			28.4	11,260	445	51	55.7	0.7	23.8	1	1	
日南市	1	1			24.4	8,000	1,761	85	28.7	3.2	51.1	1	1	

資料：「日本の図書館 2004」

(6) 読書活動の推進に関する催し物、情報提供などの事例

各都市の図書館では、読書活動の推進に関するさまざまな催し物、情報提供が行われている。図書館ホームページに掲載されている催し物から、いくつかの事例を紹介する。

「親子で楽しむ絵本講座」・「赤ちゃんを楽しむわらべうたの会」(浦安市立図書館)

「親子で楽しむ絵本講座」は、児童担当職員が講師となり、前半は親子でわらべうたとよみきかせを楽しみ、後半は、子どもは別室で保育、親は講義を受講するという内容である。

「赤ちゃんを楽しむわらべうたの会」は、乳幼児とその保護者を対象に、年齢に応じたわらべうた遊びや絵本のよみきかせ、絵本の選び方のアドバイスなどを実施している。

「読み聞かせの会」(桑名市立中央図書館)

ボランティアによる「読み聞かせの会」を実施している。平成17年4月からは、ほぼ毎日、午前・午後1回ずつ実施する。

図書館の児童サービスとして、「読み聞かせ」はよく行われているが、桑名市立中央図書館では開催頻度が非常に多い。

The screenshot shows the website of Kani City Central Library (桑名市立中央図書館) with a calendar for April 2005. The calendar lists reading sessions (読み聞かせ) on various days, including weekends and holidays. The sessions are organized by time slots (e.g., 10:00-11:30, 11:00-12:00) and some specify the books to be read (e.g., 『おまわりさん』, 『おんきくさん』).

「ヤングアダルトベストリーダー」(世田谷区立図書館)

若年利用者によく読まれた図書をホームページで紹介している。12のジャンル別に、月間単位で貸出の多かった順に集計した結果を検索できる。

タイトル別のリストは、書誌情報とリンクしており、本の内容の抄録、著者紹介など、本の内容について詳しく知ることができる。

The screenshot shows the website of Setagaya Municipal Library (世田谷区立図書館) with a page titled 'ベストリーダー(ヤングアダルト)' (Best Leader (Young Adult)). The page displays a list of books categorized by genre (ジャンル). The genres listed are: 図書 (Books), 歴史・伝記・地理・旅行 (History/Biography/Geography/Travel), 政治・法律・経済 (Politics/Law/Economics), 社会・教育・民俗学・軍事 (Society/Education/Folklore/Military), 自然科学・動植物・産業 (Natural Science/Animals/Plants/Industry), 工業・コンピュータ・医学 (Industry/Computer/Medicine), 家庭・手芸・料理・育児 (Home/Hobbies/Cooking/Childcare), 芸術・スポーツ・趣味 (Art/Sports/Hobbies), 文学一般・日本文学 (General Literature/Japanese Literature), 外国文学 (Foreign Literature), 子どもの本 (Children's Books), and 絵本・紙芝居 (Picture Books/Puppet Shows).

2 学校図書館の状況

文部科学省が実施した「学校図書館の現状に関する調査」（平成 16 年 2 月 25 日発表）から、公立小学校・中学校・高等学校の学校図書館における読書活動の推進状況を整理する。

（１）司書教諭発令の状況

12 学級以上の公立学校における司書教諭の配置状況は、小学校・中学校・高等学校とも、ほぼ 100%に近い達成状況となっている。

図表 4－2－1 12 学級以上の学校における司書教諭の発令状況

		国立	公立	私立
小学校	学校数	73	11,335	109
	司書教諭発令学校数	73	11,251	89
	割合	100.0%	99.3%	81.7%
中学校	学校数	51	4,625	263
	司書教諭発令学校数	50	4,551	187
	割合	98.0%	98.4%	71.1%
高等学校	学校数	12	3,193	1,154
	司書教諭発令学校数	12	3,038	994
	割合	100.0%	95.1%	86.1%

資料：「学校図書館の現状に関する調査」

（２）蔵書の状況

公立の小学校・中学校・高等学校の 1 校あたりの蔵書冊数は、小学校は 6,800 冊、中学校は 8,400 冊、高等学校は 20,800 冊となっている。小学校・中学校と比べ、高等学校の蔵書規模は 2 倍～3 倍となっている。

図表 4－2－2 公立学校における 1 校あたりの蔵書冊数

	14 年度末 蔵書冊数	13 年度末 蔵書冊数	増加冊数	14 年度間 購入冊数	14 年度寄 贈冊数	14 年度廃 棄冊数
小学校	6,834 冊	6,752 冊	82 冊	288 冊	58 冊	263 冊
中学校	8,441 冊	8,277 冊	164 冊	356 冊	46 冊	238 冊
高等学校	20,828 冊	20,496 冊	332 冊	565 冊	90 冊	324 冊

資料：「学校図書館の現状に関する調査」

(3) 読書活動推進の状況

①全校一斉の読書活動の実施状況

全校一斉の読書活動は、小学校では8割以上が実施している。中学校では7割、高等学校では3割となり、学年があがるほど全校一斉の読書活動は少なくなっている。

図表4-2-3 公立学校における全校一斉の読書活動の実施状況

	全校一斉の読書活動をしている学校数
小学校 N=22,738	19,110校 84.0%
中学校 N=10,251	7,175校 70.0%
高等学校 N=3,998	1,208校 30.2%

資料：「学校図書館の現状に関する調査」

②全校一斉の読書活動を実施している時間帯

全校一斉の読書活動を実施している学校のうち、実施している時間帯は、始業前の時間帯が最も多い。高等学校では1割が授業中に実施している。

図表4-2-4 全校一斉の読書活動を実施している時間帯

	始業前	授業中	昼休み 放課後	その他
小学校 n=19,110	16,431校 86.0%	1,123校 5.9%	792校 4.1%	1,406校 7.4%
中学校 n=7,175	6,134校 85.5%	480校 6.7%	465校 6.5%	463校 6.5%
高等学校 n=1,208	815校 67.5%	143校 11.8%	29校 2.4%	225校 18.6%

資料：「学校図書館の現状に関する調査」

③全校一斉の読書活動を実施している頻度

全校一斉の読書活動は、小学校では週に1回～数回程度、中学校・高等学校では半数が毎日実施している。

図表 4－2－5 全校一斉の読書活動の頻度

	毎日	週に数回	週に1回	月数回程度	その他
小学校	3,270校	6,551校	6,378校	838校	2,073校
n=19,110	17.1%	34.3%	33.4%	4.4%	10.8%
中学校	4,022校	1,214校	422校	324校	1,193校
n=7,175	56.1%	16.9%	5.9%	4.5%	16.6%
高等学校	594校	114校	33校	28校	439校
n=1,208	49.2%	9.4%	2.7%	2.3%	36.3%

資料：「学校図書館の現状に関する調査」

④必読書・推奨図書等の設定状況

必読書・推奨図書等を定めている学校は、小学校では3割台、中学校では2割台、高等学校では3割弱となっている。

図表 4－2－6 必読書・推奨図書の設定状況

	必読書・推奨図書等を定めている
小学校 N=22,738	8,246校 36.3%
中学校 N=10,251	2,771校 27.0%
高等学校 N=3,998	1,174校 29.4%

資料：「学校図書館の現状に関する調査」

⑤必読書・推奨図書等の冊数

必読書・推奨図書等の冊数は、小学校と中学校は 30 冊以内が 6 割台、高等学校では 30 冊以上が 6 割弱となっている。

図表 4－2－7 必読書・推奨図書の冊数

	1～3冊	4～30冊	31～100冊	101冊以上
小学校	575	4,647	2,053	971
n=8,246	7.0%	56.4%	24.9%	11.8%
中学校	663	1,213	724	171
n=2,771	23.9%	43.8%	26.1%	6.2%
高等学校	152	337	483	202
n=1,174	12.9%	28.7%	41.1%	17.2%

資料：「学校図書館の現状に関する調査」

⑥公共図書館との連携状況

公共図書館との連携を実施している学校は、小学校では半数以上、中学校では 3 割台、高等学校では 2 割台である。連携の内容は 7 割から 8 割が図書館資料の貸借となっている。

図表 4－2－8 公共図書館との連携状況

	公共図書館 との連携
小学校	12,198
N=22,738	53.6%
中学校	3,495
N=10,251	34.1%
高等学校	1,133
N=3,998	28.3%

資料：「学校図書館の現状に関する調査」

図表 4－2－9 公共図書館との連携内容

	図書館資料の 貸借	定期的な連絡 会	司書などの巡 回訪問	その他
小学校	9,583	1,521	1,953	2,026
n=12,198	78.6%	12.5%	16.0%	16.6%
中学校	2,731	623	297	534
n=3,495	78.1%	17.8%	8.5%	15.3%
高等学校	995	81	27	131
n=1,133	87.8%	7.1%	2.4%	11.6%

資料：「学校図書館の現状に関する調査」

資料

「どくしょ（本をよむこと）についてのしつもん」のおねがい

- ◎ つぎのしつもんについて、あなたにあてはまるものをえらんで、○をつけてください。
- ◎ かきおわったら、おうちのひとにわたしてください。
- ◎ このしつもんについてわからないことがあったら、おうちの人にきいてください。

1 あなたは何年生ですか（数字をかいてください）。

小学（ ）年生

2 あなたは、男ですか、女ですか（どちらかに○をつけてください）。

男 女

本をよむことについておたずねします。

ちゅうい：ここで本とは、本やえほんのことをいいます。まんが、きょうかしょ、さんこうしょ、しんぶん、じてんなどは入りません。

3 あなたは、本をよむのが好きですか（1つに○をつけてください）。

- 1. すき
- 2. どちらかというとき
- 3. どちらかというときらい
- 4. きらい

4 あなたが、本をよむのはどうしてですか（いくつでも○をつけてください）。

1. おもしろいから、たのしいから
2. ためになるから
3. ともだちがよむから
4. せんせいやおうちのひとに本をよみなさいといわれるから
5. 本をよむとせんせいやおうちのひとからほめられるから
6. しらべものがあるから
7. そのた（ぐたいてきに： _____）

5 あなたは、どこで本をよんでいますか（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）。

1. じぶんのいえやともだちのいえ
2. まちのとしょかん
3. がっこうのとしょかん
4. きょうしつ
5. そのた（ _____ ）

6 先月（へいせい17年2月）一か月のあいだに、なんさつの本をよみましたか（1つに○をつけてください）。

※おなじ本を2かいよんだばあいは、2さつとかぞえてください。

- | | | |
|-----------------|---|--------------|
| 1. 0さつ | → | 7からこたえてください。 |
| 2. 1さつ | } | 9からこたえてください。 |
| 3. 2さつ | | |
| 4. 3さつ | | |
| 5. 4さつ から 6さつ | | |
| 6. 7さつ から 9さつ | | |
| 7. 10さつ から 20さつ | | |
| 8. 21さつ いじょう | | |

7 6で「1. 0さつ」とこたえた人だけこたえてください。本をよまなかったのはなぜですか（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）。

- | | | |
|-----------------------|---|--------------|
| 1. 本をよむじかんがないから | → | 8からこたえてください。 |
| 2. 本をよむのがきらいだから | } | 9からこたえてください。 |
| 3. よみたい本がないから | | |
| 4. そのた（ぐたいてきに： _____） | | |

8 7で「1. 本をよむじかんがなかったから」とこたえた人だけこたえてください。なぜ本をよむじかんがなかったのですか（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）。

1. べんきょう（じゅくやしゅくだい）があるから
2. スポーツクラブやおけいこごとがあるから
3. ともだちとあそんでいるから
4. ゲームをしたりテレビを見るから
5. そのた（ぐたいてきに：_____）

9 あなたは、ちいさいころ、おうちの人から本をよんでもらいましたか
(1つに○をつけてください)。

1. よくよんでもらった
2. ときどきよんでもらった
3. あまりよんでもらえなかった
4. よんでもらえなかった

まちのとしょかんや学校のとしょかんについておたずねします。

10 先月（へいせい17年2月）一か月のあいだに、なんかいまちのとしょ
かんにいきましたか（1つに○をつけてください）。

1. 0かい 4. 5かい から 6かい
2. 1かい から 2かい 5. 7かい から 10かい
3. 3かい から 4かい 6. 11かい いじょう

11 先月よんだ本のなかで、まちのとしょかんでかりた本はなんさつありましたか（1つに○をつけてください）。

1. 0さつ 5. 4さつ から 6さつ
2. 1さつ 6. 7さつ から 9さつ
3. 2さつ 7. 10さつ いじょう
4. 3さつ

12 先月（へいせい17年2月）一か月のあいだに、なんかい学校のとしょかんにいきましたか（1つに○をつけてください）。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 0かい | 4. 5かい から 6かい |
| 2. 1かい から 2かい | 5. 7かい から 10かい |
| 3. 3かい から 4かい | 6. 11かいいいじょう |

13 先月よんだ本のなかで、学校のとしょかんでかりた本はなんさつありましたか（1つに○をつけてください）。

- | | |
|--------|---------------|
| 1. 0さつ | 5. 4さつ から 6さつ |
| 2. 1さつ | 6. 7さつ から 9さつ |
| 3. 2さつ | 7. 10さつ いじょう |
| 4. 3さつ | |

14 あなたは、まちのとしょかんなどでやっている「おはなし会」などにいくことがありますか（1つに○をつけてください）。

1. よくいく
2. ときどきいく
3. あまりいかない
4. いったことがない

15 先月（へいせい17年2月）一か月のあいだに、マンガをなんさつよみましたか（1つに○をつけてください）。

※同じマンガを2かいよんだばあいは、2さつとかぞえてください。

- | | |
|--------|-----------------|
| 1. 0さつ | 5. 4さつ から 6さつ |
| 2. 1さつ | 6. 7さつ から 9さつ |
| 3. 2さつ | 7. 10さつ から 20さつ |
| 4. 3さつ | 8. 21さつ いじょう |

しつもんはこれでおわりです。どうもありがとうございました。
あなたがかいたアンケートは、おうちの人にわたしてください。

「読書（本を読むこと）についてのしつもん」のお願い

- ◎ 次のしつもんについて、あなたにあてはまるもの選んで、○をつけてください。
- ◎ 書きおわったら、家の人にわたしてください。
- ◎ このしつもんについてわからないことがあったら、家の人に聞いてください。

問 1 あなたは何年生ですか（数字を書いてください）。

小学（ ）年生

問 2 あなたは、男ですか、女ですか（どちらかに○をつけてください）。

男 女

本を読むことについておたずねします。

注意：ここで本とは、本や絵本のことをいいます。まんが、教科書、参考書、新聞、辞典などは入りません。

問 3 あなたは、本を読むのが好きですか（1 つに○をつけてください）。

1. 好き
2. どちらかというとき好き
3. どちらかというとき嫌い
4. 嫌い

問4 あなたが本を読むのは、どうしてですか（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）。

1. おもしろいから、楽しいから
2. ためになるから
3. 友達を読むから
4. 先生やお家の人に本を読みなさいと言われるから
5. 本を読むと先生やお家の人からほめられるから
6. 調べものがあるから
7. その他〔ぐたいてきに： 〕

問5 あなたは、どこで本を読んでいますか（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）。

1. 自分の家や友達の家
2. まちのとしょかん
3. 学校のとしょかん
4. 教室
5. その他〔ぐたいてきに： 〕

問6 先月（平成17年2月）一か月のあいだに、本を何さつよみましたか（1つに○をつけてください）。

※おなじ本を2かい読んだばあいは、2さつとかぞえてください。

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 0さつ | → 問7から答えてください。 | |
| 2. 1さつ | | } 問9から答えてください。 |
| 3. 2さつ | | |
| 4. 3さつ | | |
| 5. 4さつ から 6さつ | | |
| 6. 7さつ から 9さつ | | |
| 7. 10さつ から 20さつ | | |
| 8. 21さつ いじょう | | |

問7 問6で「1. 0さつ」と答えた人だけ答えてください。本を読まなかったのはなぜですか（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）。

- | | | |
|------------------|----------------|----------------|
| 1. 本を読む時間がないから | → 問8から答えてください。 | |
| 2. 本を読むのがきらいだから | | } 問9から答えてください。 |
| 3. 読みたい本がないから | | |
| 4. その他〔ぐたいてきに： 〕 | | |

問 8 問 7 で「1. 本を読む時間がないから」と答えた人だけ答えてください。
なぜ本を読む時間がなかったのですか（あてはまるものにいくつでも○
をつけてください）。

1. 勉強（じゅくや宿題）があるから
2. スポーツクラブやおけいこごとがあるから
3. 友達と遊んでいるから
4. ゲームをしたりテレビを見るから
5. その他〔ぐたいてきに： 〕

問 9 あなたは、小さいころ、お家の人から本を読んでもらいましたか
（1 つに○をつけてください）。

1. よく読んでもらった
2. ときどき読んでもらった
3. あまり読んでもらえなかった
4. 読んでもらえなかった

図書館についておたずねします。

問 10 先月（平成 17 年 2 月）一か月の間に、何回まちの図書館にいきましたか（1 つに○をつけてください）。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 0 回 | 4. 5 回 から 6 回 |
| 2. 1 回 から 2 回 | 5. 7 回 から 10 回 |
| 3. 3 回 から 4 回 | 6. 11 回 いじょう |

問 11 先月読んだ本のなかで、まちの図書館でかりた本は何さつありましたか（1 つに○をつけてください）。

- | | |
|---------|-----------------|
| 1. 0 さつ | 5. 4 さつ から 6 さつ |
| 2. 1 さつ | 6. 7 さつ から 9 さつ |
| 3. 2 さつ | 7. 10 さつ いじょう |
| 4. 3 さつ | |

問 12 先月（平成 17 年 2 月）一か月の間に、何回学校の図書館に行きましたか（1 つに○をつけてください）。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 0 回 | 4. 5 回 から 6 回 |
| 2. 1 回 から 2 回 | 5. 7 回 から 10 回 |
| 3. 3 回 から 4 回 | 6. 11 回 いじょう |

問 13 先月（平成 17 年 2 月）読んだ本のなかで、学校の図書館でかりた本は何さつありましたか（1 つに○をつけてください）。

- | | |
|---------|-----------------|
| 1. 0 さつ | 5. 4 さつ から 6 さつ |
| 2. 1 さつ | 6. 7 さつ から 9 さつ |
| 3. 2 さつ | 7. 10 さつ いじょう |
| 4. 3 さつ | |

問 14 あなたは、まちの図書館などでやっている「おはなし会」などに行くことがありますか（1 つに○をつけてください）。

1. よく行く
2. ときどき行く
3. あまり行かない
4. 行ったことがない

問 15 先月（平成 17 年 2 月）一か月のあいだに、マンガを何さつよみましたか（1 つに○をつけてください）。

※同じマンガを 2 回読んだ場合は、2 さつとかぞえてください。

- | | |
|---------|-------------------|
| 1. 0 さつ | 5. 4 さつ から 6 さつ |
| 2. 1 さつ | 6. 7 さつ から 9 さつ |
| 3. 2 さつ | 7. 10 さつ から 20 さつ |
| 4. 3 さつ | 8. 21 さつ いじょう |

しつもんはこれで終わりです。どうもありがとうございました。
あなたが書いたアンケートは、家の人にわたしてください。

「親と子の読書活動等に関する調査」のお願い

以下の質問について、選択肢の中から最もあてはまるものに○をつけてください。
また、具体的な名称、数字を記入するものについては、それを記入してください。
なお、ここで読書の対象とする本は単行本、文庫本、絵本などとしします。マンガ、週刊誌、新聞、教科書、学習参考書、辞書、百科事典、図鑑は除きます。

書き終わったら、このアンケートと一緒に配った封筒に、あなたが書いたアンケートと、保護者の方が書いたアンケートを一緒に入れて、3月28日（月曜日）までに郵便ポストに入れてください。

調査内容について不明な点がありましたら、家の人に相談するか、下記まで問い合わせてください。

【調査実施機関・問合せ先】

財団法人 日本経済研究所（担当：片桐）

電話：03-5280-6298

株式会社 生活構造研究所（担当：佐藤、半田）

電話：03-5275-7865

問1 あなたは中学生ですか、高校生ですか（どちらかに○を付けてください）。

中学生 高校生

問2 あなたの性別は（ご記入ください）。

（ ）

日ごろの読書の状況についておたずねします。

問3 あなたは本を読むのが好きですか（1つに○を付けてください）。

1. 好き
2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえば嫌い
4. 嫌い

問4 あなたが本を読むのは、どうしてですか(あてはまるものにいくつでも○を付けてください)。

1. おもしろいから、楽しいから
2. ためになるから
3. 友達を読むから
4. 家の人や先生が本を読めというから
5. 本を読むと家の人や先生にほめられるから
6. 調べものをするため
7. その他(具体的に:)

問5 あなたはどこで本を読んでいますか(あてはまるものにいくつでも○を付けてください)。

1. 自宅又は友人の家
2. 地域の図書館
3. 学校の図書館
4. 教室
5. その他(具体的に:)

問6 先月(平成17年2月)一か月の間に、本を何冊読みましたか(1つに○を付けてください)。

※同じ本を2回読んだ場合は、2冊と数えてください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 0冊 | → 問5から答えてください。 |
| 2. 1冊 | } 問9から答えてください。 |
| 3. 2冊 | |
| 4. 3冊 | |
| 5. 4冊～ 6冊 | |
| 6. 7冊～ 9冊 | |
| 7. 10冊～20冊 | |
| 8. 21冊以上 | |

問7 問6で「1. 0冊」と答えた人だけ答えてください。本を読まなかったのはなぜですか(1つに○を付けてください)。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 本を読む時間がないから | → 問8から答えてください。 |
| 2. 読みたい本がないから | } 問9から答えてください。 |
| 3. 本を読むのが嫌いなため | |
| 4. その他(具体的に:) | |

問8 問7で「1. 本を読む時間がないから」と答えた人だけ答えてください。
なぜ本を読む時間がなかったのですか（1つに○を付けてください）。

1. 勉強（塾や宿題）があるから
2. スポーツクラブやおけいこごとがあるから
3. 友達と遊んでいるから
4. ゲームをしたりテレビを見ているから
5. その他（具体的に：_____）

問9 あなたは子どものころ、家の人や身近な人に本を読んでもらったことがありますか（1つに○を付けてください）。

1. よく読んでもらった
2. 時々読んでもらった
3. あまり読んでもらえなかった
4. 読んでもらえなかった

地域や学校の図書館の利用状況についておたずねします。

問 10 先月（平成 17 年 2 月）一か月の間に、地域の図書館に何回行きましたか（1 つに○を付けてください）。

1. 0回
2. 1回～2回
3. 3回～4回
4. 5回～6回
5. 7回～10回
6. 11回以上

問 11 先月（平成 17 年 2 月）一か月の間に読んだ本のなかで、地域の図書館で借りた本は何冊ありましたか（1 つに○を付けてください）。

1. 0冊
2. 1冊
3. 2冊
4. 3冊
5. 4冊～6冊
6. 7冊～9冊
7. 10冊～20冊
8. 21冊以上

問12 先月（平成17年2月）一か月の間に、学校の図書館に何回行きましたか（1つに○を付けてください）。

1. 0回
2. 1回～2回
3. 3回～4回
4. 5回～6回
5. 7回～10回
6. 11回以上

問 13 先月（平成 17 年 2 月）一か月の間に読んだ本のなかで、学校の図書館で借りた本は何冊ありましたか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|--------|--------------|
| 1. 0 冊 | 5. 4 冊～6 冊 |
| 2. 1 冊 | 6. 7 冊～9 冊 |
| 3. 2 冊 | 7. 10 冊～20 冊 |
| 4. 3 冊 | 8. 21 冊以上 |

問 14 あなたは小さいころ、地域の図書館などでやっている「おはなし会」などに参加したことがありますか（1 つに○を付けてください）。

1. よく参加した
2. 時々参加した
3. あまり参加しなかった
4. 参加しなかった

問 15 先月（平成 17 年 2 月）の一か月の間に、マンガを何冊読みましたか（1 つに○を付けてください）。
※週刊マンガ雑誌は除きます。同じマンガを 2 回読んだ場合、2 冊と数えてください。

- | | |
|--------|--------------|
| 1. 0 冊 | 5. 4 冊～6 冊 |
| 2. 1 冊 | 6. 7 冊～9 冊 |
| 3. 2 冊 | 7. 10 冊～20 冊 |
| 4. 3 冊 | 8. 21 冊以上 |

御協力ありがとうございました。

保護者の皆様へ

「親と子の読書活動等に関する調査」のお願い

子どもたちの読書を推進するためには、子どもたちが自ら本を手に取り、本のおもしろさや楽しさを知り、読書する喜びを身につけていくことが重要です。

この調査は、子どもの読書活動を推進するために、家庭や地域においてどのような取組や環境が必要であるか、ということについて、全国の小学2年生、5年生、中学2年生、高校2年生とその保護者、約1万3千人を対象に、(財)日本経済研究所が文部科学省の委託を受けて調査するものです。

今回の調査では、「読書活動の推進」という観点から、調査対象の「本」を単行本や文庫本、絵本といったものにしばって、調査を実施することとしました。

問12、15、16、20、21の項目につきましては、今回同時にアンケートをお願いしたお子さんについてお答えください。

御多用中のところまことに申し訳ありませんが、本調査に御協力いただきますようお願いいたします。

この調査は無記名の調査です。記入していただきました内容については、統計的に処理いたしますので、あなたの回答が特定されることはありません。調査票の上部に記載された番号は、整理番号です。個人の情報が外部に漏れることは一切ありません。

また、この調査結果については、この調査目的以外での使用はありませんので、実情やお考えを率直に記入していただきますようお願いいたします。

なお、勝手ながら、**3月28日(月)**までに、同封の返信用封筒にお子さんが記入した調査票と保護者が記入した調査票を一緒に入れて返送してください。

平成17年3月

文部科学省生涯学習政策局社会教育課

◆記入にあたっては、以下の点にご注意ください。

- ・ 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・ ○の数はそれぞれの質問の指示に従ってください。
- ・ 質問の回答が「その他」に該当する場合は〔 〕内にその内容を具体的に記入してください。
- ・ ここで読書の対象とする本は、単行本、文庫本、絵本などとしします。マンガ、週刊誌、新聞、教科書、学習参考書、辞書、百科事典、図鑑は除きます。
- ・ 今回の調査は財団法人日本経済研究所が実施し、協力機関である株式会社生活構造研究所がとりまとめます。調査内容について不明な点がございましたら、下記まで問い合わせてください。

【調査実施機関・問合せ先】

財団法人 日本経済研究所 (担当：片桐)

電話：03-5280-6298

株式会社 生活構造研究所 (担当：佐藤、半田)

電話：03-5275-7865

以下の質問について、選択肢の中からあなたに最もあてはまるものに○をつけてください。
また、具体的な名称、数字を記入いただくものについては、それを記入してください。
なお、ここで読書の対象とする本は単行本、文庫本、絵本などとしします。マンガ、週刊誌、新聞、教科書、学習参考書、辞書、百科事典、図鑑は除きます。

問1 あなたの性別は（記入してください）。

()

問2 あなたの年齢は（数字を記入してください）。

歳

日ごろの読書の状況についておたずねします。

問3 あなたは、本を読むのが好きですか（1つに○を付けてください）。

1. 好き
2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえば嫌い
4. 嫌い

問4 あなたが、本を読む理由は何ですか（当てはまるものにいくつでも○を付けてください）。

1. 娯楽のため
2. 趣味のため
3. 教養のため
4. 仕事のため
5. その他〔具体的に： 〕

問5 あなたは、どこで本を読んでいますか（当てはまるものにいくつでも○を付けてください）。

1. 自宅
2. 地域の図書館
3. 電車やバスの中
4. 職場
5. その他〔具体的に： 〕

問6 先月（平成17年2月）一か月の間に、あなたは何冊の本を読みましたか（1つに○を付けてください）。

※同じ本を2回読んだ場合、2冊と数えてください。

- | | | | |
|----|---------|---|--------------|
| 1. | 0冊 | → | 問7からお答えください。 |
| 2. | 1冊 | } | 問8からお答えください。 |
| 3. | 2冊 | | |
| 4. | 3冊 | | |
| 5. | 4冊～ 6冊 | | |
| 6. | 7冊～ 9冊 | | |
| 7. | 10冊～20冊 | | |
| 8. | 21冊以上 | | |

問7 問6で「1. 0冊」と答えた方にうかがいます。あなたが本を読まなかった理由は何ですか（1つに○を付けてください）。

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 仕事や家事で忙しいから | |
| 2. 読みたい本がないから | |
| 3. 読書以外にやりたいことがあるから | |
| 4. 本を読むのがきらいだから | |
| 5. その他〔具体的に： | 〕 |

問8 あなたの家には何冊くらいの本がありますか（1つに○を付けてください）。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 1冊～50冊 | 5. 201冊～300冊 |
| 2. 51冊～100冊 | 6. 301冊～400冊 |
| 3. 101冊～150冊 | 7. 401冊以上 |
| 4. 151冊～200冊 | |

問9 また、マンガ（週刊誌を除く）は、何冊くらいありますか（1つに○を付けてください）。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 1冊～50冊 | 5. 201冊～300冊 |
| 2. 51冊～100冊 | 6. 301冊～400冊 |
| 3. 101冊～150冊 | 7. 401冊以上 |
| 4. 151冊～200冊 | |

地域の図書館の利用状況についておたずねします。

問 10 先月（平成 17 年 2 月）一か月間で、あなたは地域の図書館に何回行きましたか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 0 回 | → 問 1 3 からお答えください。 |
| 2. 1 回～2 回 | } 問 1 1 からお答えください。 |
| 3. 3 回～4 回 | |
| 4. 5 回～6 回 | |
| 5. 7 回～1 0 回 | |
| 6. 1 1 回以上 | |

問 11 平成 17 年 2 月の一か月間に、あなたは地域の図書館で何冊本を借りましたか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|--------|----------------|
| 1. 0 冊 | 5. 4 冊～6 冊 |
| 2. 1 冊 | 6. 7 冊～9 冊 |
| 3. 2 冊 | 7. 1 0 冊～2 0 冊 |
| 4. 3 冊 | 8. 2 1 冊以上 |

問 12 平成 1 7 年 2 月の一か月間に、お子さんと一緒に地域の図書館に何回行きましたか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 0 回 | 4. 5 回～ 6 回 |
| 2. 1 回～2 回 | 5. 7 回～1 0 回 |
| 3. 3 回～4 回 | 6. 1 1 回以上 |

問 13 あなたが普段利用している図書館に行くには、自宅からはどのような方法で行っていますか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|--------|---|
| 1. 徒歩 | 4. バス |
| 2. 自転車 | 5. 電車 |
| 3. 車 | 6. その他〔具体的に：] |

問 14 あなたが普段利用している図書館に行くには、自宅からはどのくらいの時間で行くことができますか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 5 分以内 | 4. 3 0 分以内 |
| 2. 1 0 分以内 | 5. 3 0 分以上 |
| 3. 1 5 分以内 | |

書店の利用状況についておたずねします。

問 15 先月（平成 17 年 2 月）の一か月間に、あなたはお子さんと一緒に何回書店に行きましたか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 0 回 | 4. 5 回～6 回 |
| 2. 1 回～2 回 | 5. 7 回～10 回 |
| 3. 3 回～4 回 | 6. 11 回以上 |

問 16 先月（平成 17 年 2 月）の一か月間に、お子さんに買い与えた本は何冊ありますか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|--------|----------|
| 1. 0 冊 | 4. 3 冊 |
| 2. 1 冊 | 5. 4 冊 |
| 3. 2 冊 | 6. 5 冊以上 |

問 17 あなたが日頃から最もよく利用している書店に行くには、自宅からはどのような方法で行っていますか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|--------|----------------|
| 1. 徒歩 | 4. バス |
| 2. 自転車 | 5. 電車 |
| 3. 車 | 6. その他〔具体的に： 〕 |

問 18 あなたが日ごろから最もよく利用している書店に行くには、自宅からはどのくらいの時間で行くことができますか（1 つに○を付けてください）。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 5 分以内 | 4. 30 分以内 |
| 2. 10 分以内 | 5. 30 分以上 |
| 3. 15 分以内 | |

子どもの読書活動の支援についておたずねします。

問 19 あなたは子どものころ、家の人や身近な人から本を読んでもらったことがありますか（1 つに○を付けてください）。

1. よく読んでもらった
2. 時々読んでもらった
3. あまり読んでもらえなかった
4. 読んでもらえなかった

**問 20 あなたが、自分のお子さんに本の読み聞かせをしていた時期について
お答えください（１つに○を付けてください）。**

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 1歳になるまで | 6. 6歳になるまで |
| 2. 2歳になるまで | 7. 小学校低学年(1・2年)まで |
| 3. 3歳になるまで | 8. 小学校中学年(3・4年)まで |
| 4. 4歳になるまで | 9. 小学校高学年(5・6年)以上まで |
| 5. 5歳になるまで | 10. 読み聞かせはしていなかった |

**問 21 あなたが、自分のお子さんに本の読み聞かせをしていた頻度について
お答えください（１つに○を付けてください）。**

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 4. 月に2、3回 |
| 2. 週に3、4回 | 5. それ以下 |
| 3. 週に1、2回 | |

**問 22 読み聞かせのほかに、あなたが子どもの読書活動を推進するためにし
ている、あるいはしていたことは何ですか（当てはまるものにいくつで
も○を付けてください）。**

1. 子どもが本を読んだらほめる
2. 本のことについて話をする
3. 家に本をたくさん置く
4. 自分(保護者)が読書している姿を見せる
5. 図書館に連れて行く
6. 読書会や読み聞かせの会などに参加する
7. 本を買い与える
8. その他〔具体的に： 〕

**問 23 あなたは、子どもの読書活動を進めるために必要なことは何だと思
いますか。**

（１）学校での活動（当てはまるものにいくつでも○を付けてください）

1. 教員がほめる・評価する
2. 読書の時間の設定
3. 読み聞かせ
4. 「調べ学習」など図書館を使った学習の充実
5. 学校図書館の蔵書や情報機器の充実
6. 学校図書館の開放
7. ボランティアの受け入れなど、学校、家庭、地域の連携
8. 学校司書・司書教諭の配置の充実
9. その他〔具体的に： 〕

(2) 家庭での活動（当てはまるものにいくつでも○を付けてください）

1. 子どもが本を読んだらほめる
2. 本のことについて話をする
3. 家に本をたくさん置く
4. 自分(保護者)が読書している姿を見せる
5. 図書館に連れて行く
6. 読書会や読み聞かせの会などに参加する
7. 本を買い与える
8. その他〔具体的に： _____〕

(3) 地域での活動（当てはまるものにいくつでも○を付けてください）

1. 公共図書館における児童コーナーの設置や児童書の充実
2. 巡回図書館車による巡回など身近に本に触れさせること
3. 図書館職員の充実
4. 読み聞かせの会などの催し物の実施
5. ブックスタート(※)活動などのはたらきかけ
6. ボランティアや指導者の養成・協力
7. 読書に関するイベントの実施や広報活動の充実
8. その他〔具体的に： _____〕

※ ブックスタートとは、赤ちゃんと保護者に対しておすすめの絵本や絵本のリストなどをメッセージや説明を添えながらていねいに渡していく運動のことです。

問 24 あなたは子どもの読書に対して何を期待しますか(当てはまるものにいくつでも○を付けてください)。

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 創造力が養われる | 7. 論理的な思考力が身に付く |
| 2. 表現力が身に付く | 8. 想像力が養われる |
| 3. 感性が身に付く | 9. 読解力が身に付く |
| 4. 語彙が増加する | 10. 期待しているものはない |
| 5. 言語感覚が養われる | 11. その他〔具体的に： _____〕 |
| 6. 知識が増える | |

問 25 子どもの読書活動についての意見など、何でも自由に記入してください。

御協力ありがとうございました。お手数ですが、3月28日(月)までに、お子さんが記入した調査票と一緒に、同封の返信用封筒で返送してください。

親と子の読書活動等に関する調査 報告書

平成 1 6 年度

調査受託機関：財団法人日本経済研究所

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台三丁目 3 番地 4 駿河台セントビル
TEL 03(5280) 6298

連 絡 先：文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課

〒100-8959 東京都千代田区丸の内二丁目 5 番地 1
TEL 03-5253-4111

URL http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/index.htm